



MAGNIFICA
CAPPUCCINO

Full Automatic Coffee Machine

デロンギ マグニフィカ S カプチャーノ コンパクト全自動エスプレッソマシン

型式番号 **ECAM23460**
家庭用

※本体の型式番号「ECAM23460」の後に続くアルファベットは、色番号を表すものです。

取扱説明書

保証書付



この度は、デロンギ製品をお求めいただきまことにありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書（裏表紙）と共に大切に保管してください。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（P.3～5）を必ずお読みください。
- 初めてお使いになるときは「初めてお使いになる前に」（P.10～12）をお読みください。

もくじ

安全上のご注意	3 ~ 5
各部の名前とはたらき	6 ~ 8
コーヒーの設定について	9
初めてお使いになる前に	10 ~ 12
電源のオン／オフ	13
エスプレッソ抽出の基本	14 ~ 15
給湯機能の使いかた	15
エスプレッソの作りかた（豆を使う）	16 ~ 17
エスプレッソの作りかた（粉を使う）	18 ~ 19
ホットコーヒーの作りかた	20 ~ 21
カプチーノ／カフェラテの作りかた	22 ~ 24
フロスミルク／スチームミルクの作りかた	25
アイスメニューの作りかた（レシピ）	26
プログラムモード	27 ~ 31
お手入れ	32 ~ 38
ディスプレイの表示と対処方法	39
故障かな？	40 ~ 41
仕様	42
アフターサービスについて	43
保証書	裏表紙

特 長

■ カプチーノやカフェラテがワンタッチで作れます

エスプレッソはもちろん、カプチーノやカフェラテなどのアレンジメニューもボタン 1 つで作れます。牛乳の泡立て具合も簡単に調整できます。

■ いつでも手軽に豆からひきたて・いれたてのエスプレッソを楽しめます

ボタンを押すと、豆ひきから抽出まで一気に行うので、いつでもひきたて・いれたてのエスプレッソが味わえます。

■ コンパクトサイズ

機能やパフォーマンスを犠牲にすることなく、コンパクト化を実現しました。

■ 便利で多彩なプログラムメニュー

抽出温度やオートオフ、カップ照明の設定など、豊富なメニューが揃っています。

■ 簡単操作のコントロールパネル

日本語対応のディスプレイ表示だから、どなたでも簡単に操作・設定できます。

■ 節電機能

節電機能を使うと、コーヒー抽出後、自動的にボイラーがオフになり、無駄な電力の消費を抑えます。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」、「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示はしてはいけない「禁止」内容です。			この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。		
	：禁止		：接触禁止		：水濡れ禁止
	：分解禁止		：濡れ手禁止		：指示を守る
					：電源プラグを抜く

安全上のご注意



警告

電源／コンセントについて



電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
火災・感電の原因。

15A 125V



コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
火災の原因。
・他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱します。



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
火災・感電の原因。



延長コードやテーブルタップなどは使わない
火災の原因。
・コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱します。

電源プラグ・電源コードについて



電源プラグやコンセントに付いているホコリやゴミは、定期的に取り除く
火災の原因。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
火災・感電の原因。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・けがの原因。



動作中に電源プラグを抜き差ししない
火災・感電の原因。



電源プラグや電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグを抜く
火災の原因。
→お求めの販売店または当社テクニカルセンター（P.43）に相談する。



電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

※ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込むなど

火災・感電の原因。

→電源コードが破損している場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（P.43）に相談する。



警告

使用中／使用後について



分解・修理・改造は行わない
火災・感電・けがの原因。



異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、
電源プラグを抜く
火災・感電・やけど・けがの原因。
→お求めの販売店または当社テクニカルセンター
(P.43) に相談する。



子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところ
で使わない
感電・やけどの原因。



本体や電源コード、電源プラグに水をかけたり
水に浸けたりしない
火災・感電の原因。



注意

電源プラグ・電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持た
ず、必ず電源プラグを持って抜く
火災・感電の原因。



長期間使用しない場合は、電源プラグを抜く
火災・感電の原因。

使用中／使用後について



カップなどをトレイに置いたまま、本体を動か
さない
やけど・けがの原因。



豆ホッパー内部に指などを入れない
けがの原因。



コーヒーの抽出中や給湯中にトレイを引き出
さない
やけどの原因。



コーヒーの抽出中やお湯・蒸気を出している
最中に、抽出口や蒸気が出る所に触ったり、
顔などを近づけない
やけどの原因。



使用中／使用後しばらくは抽出口やスチーム
管、ミルクノズル、給湯ノズルに触れない
やけどの原因。



他製品の部品や付属品などを組み合わせて
使わない
けがの原因。



水タンクに牛乳やお湯など、水以外のものを
入れない
やけどの原因。



フロス調整つまみを取り外した状態でミルク
コンテナを本体にセットしない
やけどの原因。





注意

お手入れについて



お手入れは電源プラグを抜き、各部が冷めてから行う
やけどの原因。

設置場所について



不安定なところでは使用しない
火災・やけど・けがの原因。



火気の近くで使わない
火災の原因。

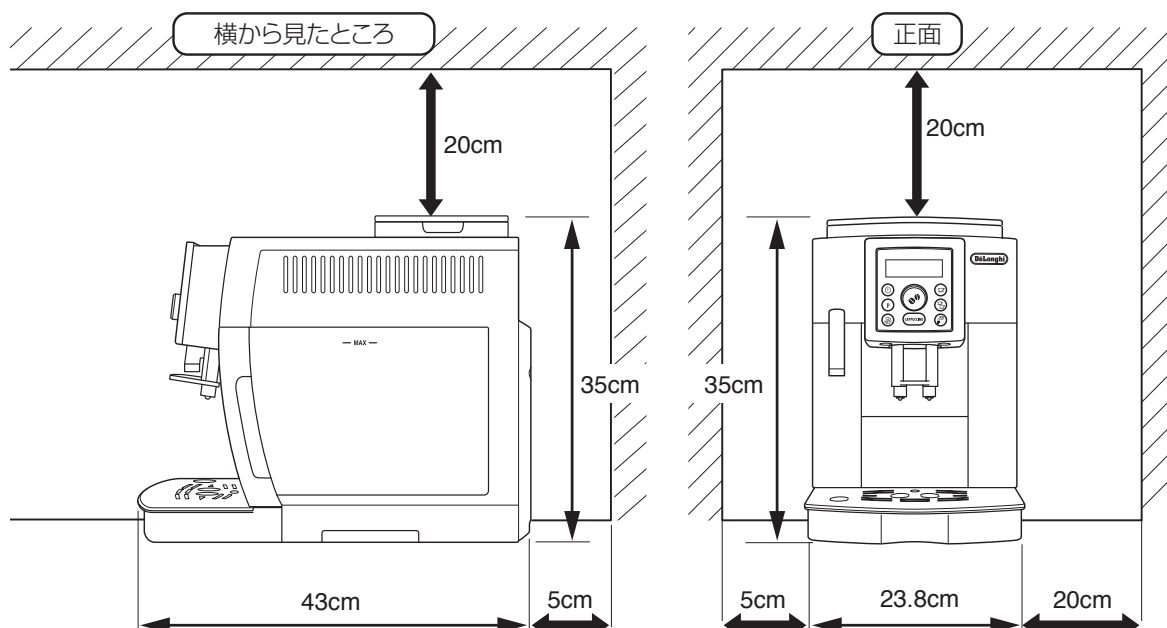


壁や家具の近くでは使用しない
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。

安全上のご注意

設置場所について

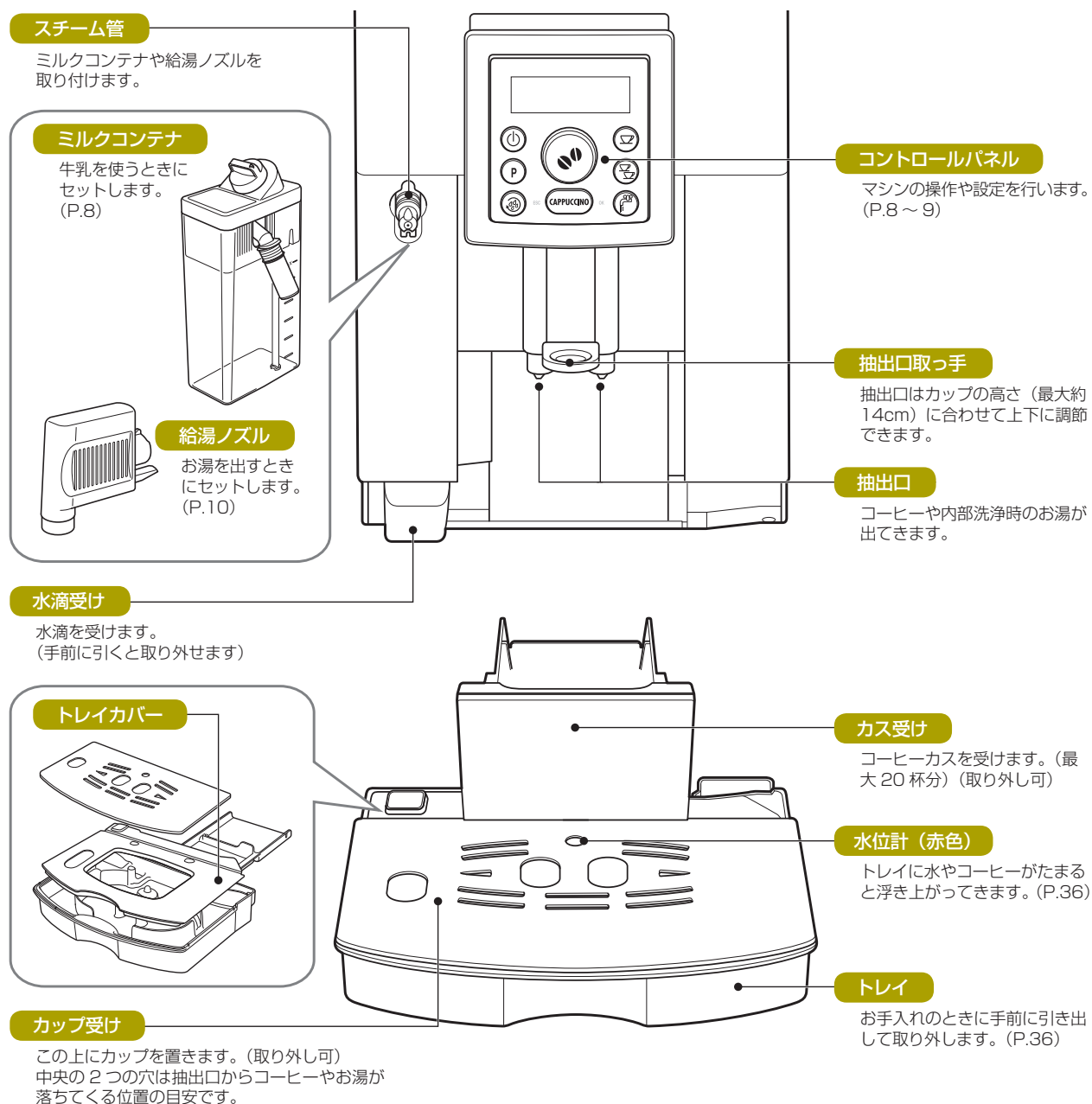
- 左側、後部 5cm 以上、右側、上部 20cm 以上空けて設置してください。
- 室温が 0℃ 以下になる場所に設置しないでください。(水が凍り、故障の原因)



各部の名前とはたらき

本体正面

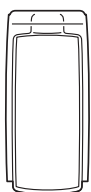
●ご使用の前に輸送用のテープや保護シールを必ずはがしてください。



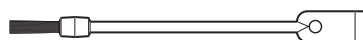
付属品



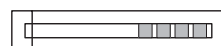
計量スプーン



全自動コーヒーマシン用除石灰剤(1個)

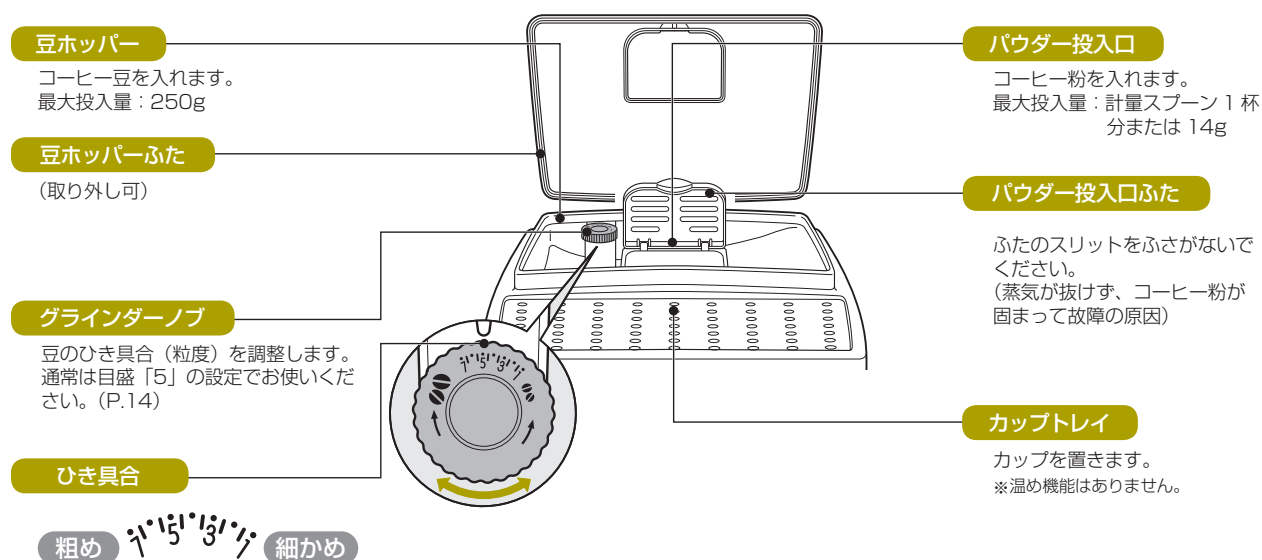


クリーニングブラシ



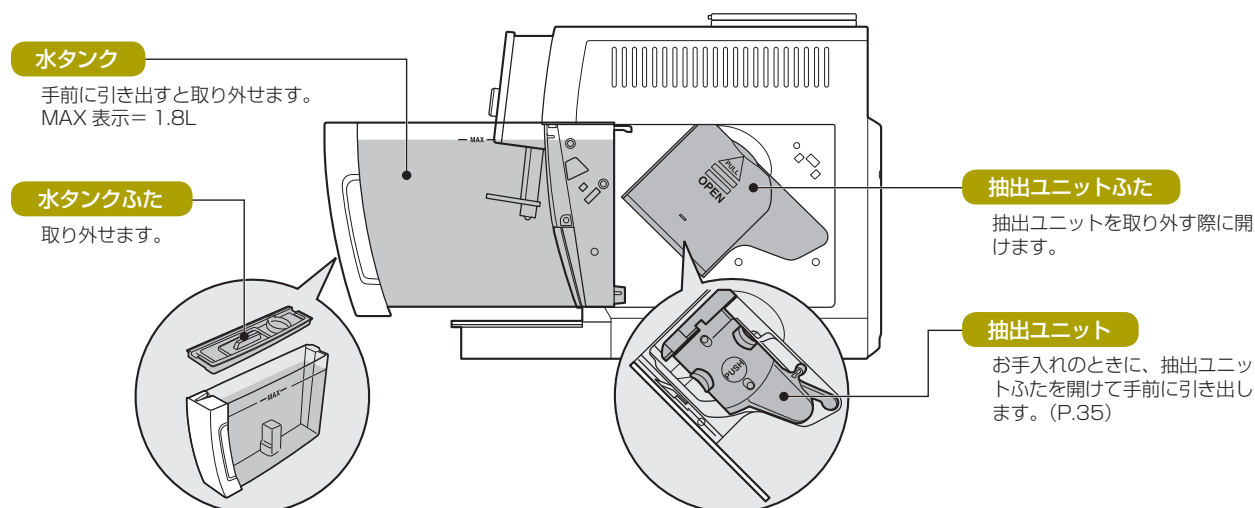
水硬度チェッカー
(取扱説明書の表紙を開いたところに貼り付けられています)

本体上面

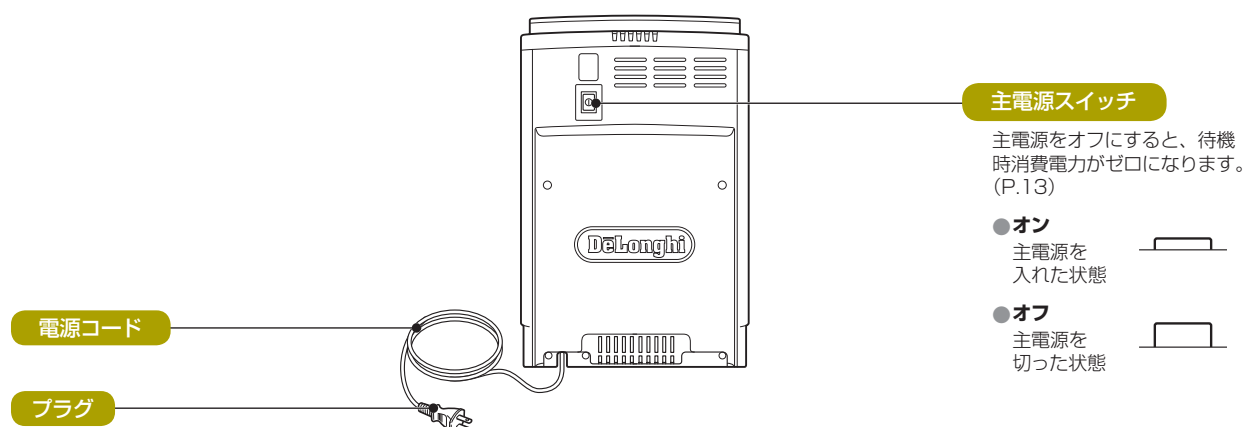


各部の名前とはたらき

本体側面

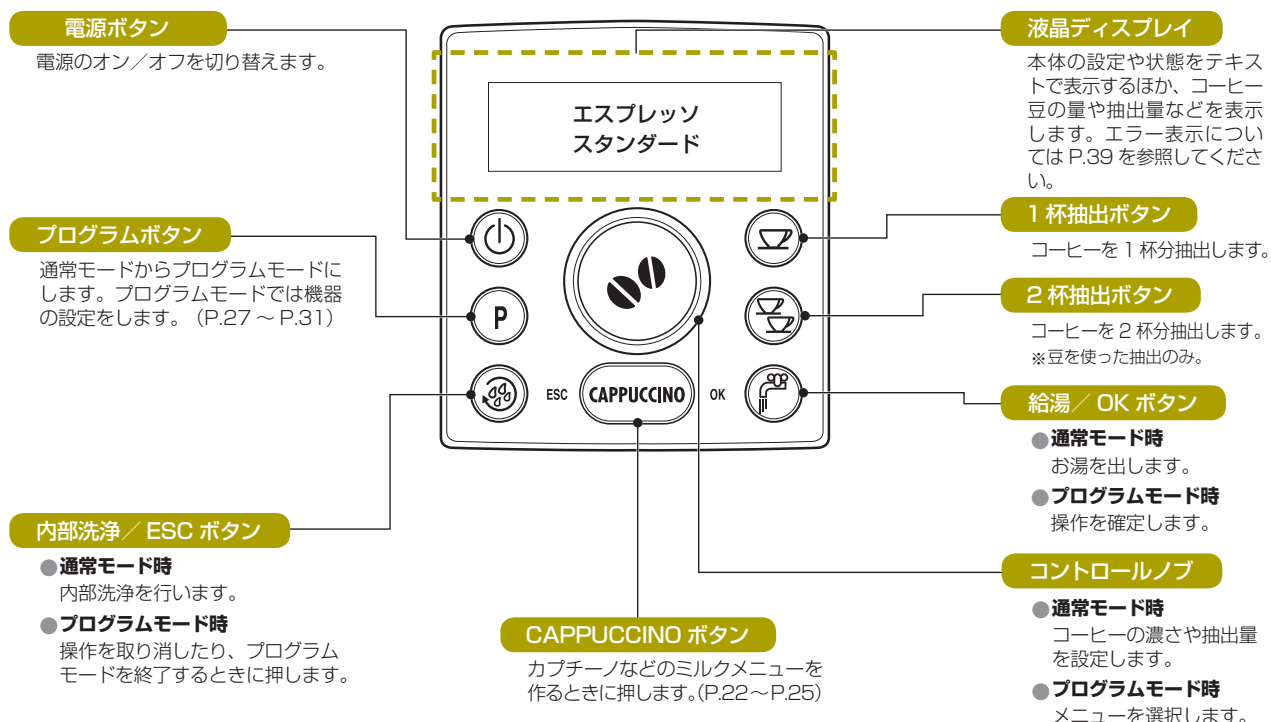


本体背面

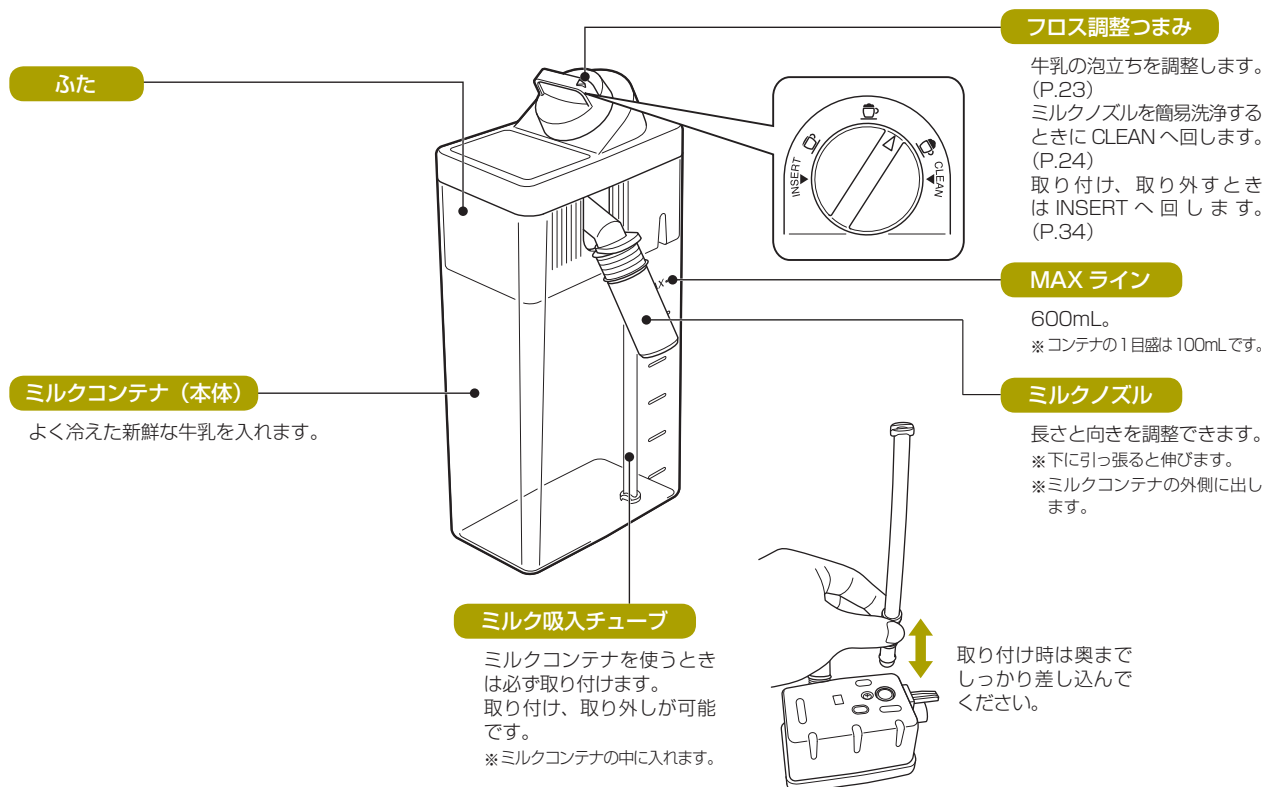


各部の名前とはたらき (つづき)

コントロールパネル



ミルクコンテナ



コーヒーの設定について

コーヒー豆の量を設定する ※豆を使った抽出のみ

コントロールノブを押して、コーヒー豆の量（豆量）を選びます。

コーヒーパウダー	EXマイルド	マイルド	スタンダード	ストロング	EXストロング
----------	--------	------	--------	-------	---------

粉からの抽出時に選択 ← 少ない (薄い) → 豆からの抽出 → 多い (濃い)

コントロールノブを押すたびに、豆量が変わります。
※粉から抽出するときは、投入する粉量で調節してください。(P.18)

ひかれる豆量の目安は以下のとおりです。

		EX マイルド	マイルド	スタンダード	ストロング	EX ストロング
ひかれる豆の量 (目安)	1 杯抽出時	約 6g	約 8g	約 9g	約 10g	約 11g
	2 杯抽出時	約 10g	約 11g	約 12g	約 13g	約 14g

※ 上記の数字はあくまでも目安です。
お使いになるコーヒー豆の状態やひき具合によって、ひかれる豆の量は前後します。



抽出量を設定する

コントロールノブを回して、抽出量（水量）を選びます。

マイコーヒー	エスプレッソ	エスプレッソ LARGE	ロングコーヒー	ロングコーヒー LARGE
20~180mL (設定範囲)	約30mL	約40mL	約120mL	約150mL

少ない ← → 多い

※ 上記の抽出量は 1 杯抽出時の目安です。
2 杯抽出時には約 2 倍の量が抽出されます。



お好みの抽出量を登録する (マイコーヒーの設定)

「マイコーヒー」にはお好みの抽出量を登録できます。

- ① カップを抽出口の下に置く
- ② コントロールノブを回して「マイコーヒー」を表示させる



- ③ (1 杯抽出) ボタンを約 8 秒間押し続け、「リョウセッテイ」と表示されたらボタンから指をはなす



- ④ お好みの抽出量になったら、(1 杯抽出) ボタンをもう一度押す
登録が完了します。

初めてお使いになる前に

本製品は工場で実際に1台1台豆を使った抽出試験を行って出荷されています。そのため、本体内部にコーヒーのカスが付着していることがあります。ご了承ください。

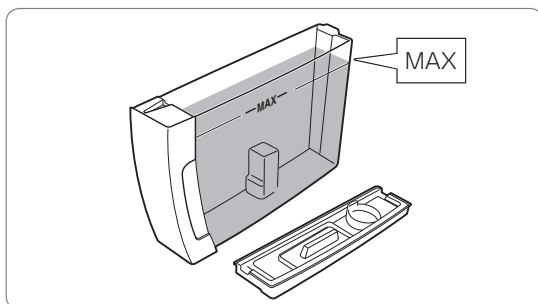
お使いになる前に、必ず各部品の水洗いを行ってください。(P.32)

初めてお使いになるときは、必ず「1. 空気抜き」と「2. 水硬度の設定」を行ってください。

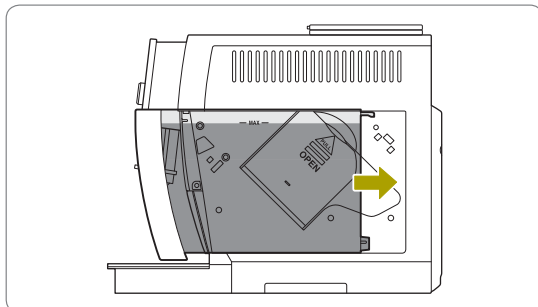
1. 空気抜き

1 水タンクに水を入れ、本体にセットする

① 水タンクに MAX の目盛まで水を入れる

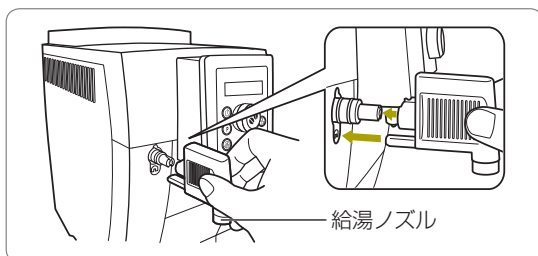


② 水タンクにふたをし、本体にセットする



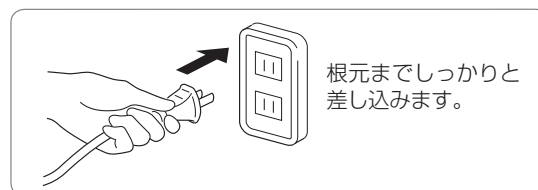
※ しっかり奥まで差し込んでください。

2 給湯ノズルをセットする



※ しっかり奥まで差し込んでください。

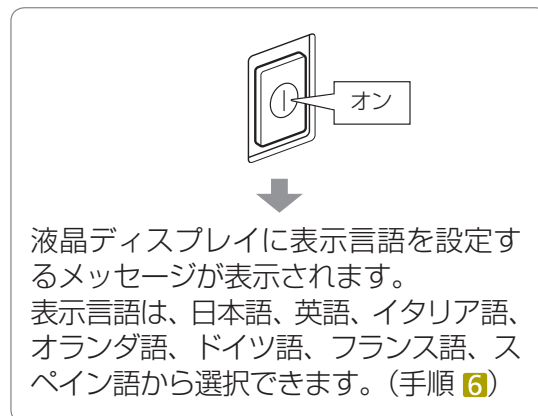
3 プラグをコンセントに差し込む



4 容量 150mL 以上のカップを給湯ノズルの真下に置く



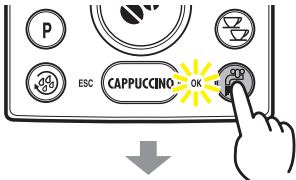
5 主電源スイッチをオンにする



6 (OK) ボタンを長押しする

OK ボタンヲ オス
ニホンゴヒョウジ

日本語が表示されているときに (OK) ボタンを長押しします。



ニホンゴヒョウジ セッテイカンリョウ

上の表示が出たらボタンから指を離します。

キュートウ
OKデスカ?

7 (OK) ボタンを押す

給湯ノズルから水が少量出て、自動的に内部の空気抜きが行われます。

シバラク オマチクダサイ

水が止まると、液晶ディスプレイの表示が消え、空気抜きが完了します。

※ 水を吸い上げるときに大きな動作音や振動がしますが、異常ではありません。

8 抽出口の下にカップを置き、 (電源) ボタンを押す



(電源) ボタンを押します。

ヨネツチュウ
シバラク オマチクダサイ

1 分ほどお待ちください。

ナイブセンジョウ
■■■■■■■■■■

内部洗浄が自動的に行われ、抽出口から少量のお湯が出ます。

エスプレッソ LARGE
スタンダード

お湯が自動的に止まり、内部洗浄が完了します。

※ このときポンプの動作音や振動がします。

9 カップの水を捨てる

※ トレイに排水しないでください。

空気抜きが終わったら

続いて水硬度の設定を行います。(P.12)

使用する言語を変更する

ディスプレイに表示される言語を、日本語、英語、イタリア語、オランダ語、ドイツ語、フランス語、スペイン語のいずれかに設定できます。

- ① (P) (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「ゲンゴセッテイ」を表示させる

- ③ (OK) ボタンを押し、言語選択のメッセージを表示させる
- ④ コントロールノブを回して設定したい言語を選び、(OK) ボタンを押して確定する
- ⑤ (ESC) ボタンを押し、プログラムモードを終了する

初めてお使いになる前に (つづき)

2. 水硬度の設定

空気抜きに続いて、水硬度の設定を行ってください。

- 本製品では、石灰の除去（除石灰）が必要になると、ディスプレイでお知らせする機能があります。水硬度の設定をしておく、適切なタイミングで石灰除去のお手入れをご案内します。
- お買い上げ時は、レベル 1（お知らせまで最も長い硬度設定）に設定されています。

1 付属の水硬度チェッカーを袋から取り出す



水硬度チェッカーは取扱説明書の表紙を開いたところに貼り付けられています。

2 水硬度を測る

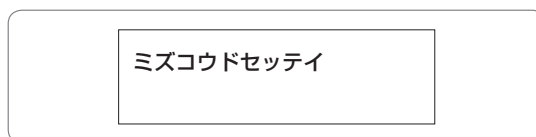
- ① コーヒー抽出に使う水に水硬度チェッカーを 1 秒間浸して取り出す
 - ② 軽く振りながら約 1 分待つ
 - ③ 水硬度を確認する
ピンク色に変化したマスを数えます。
● ピンクのマスが水硬度レベルです。
- レベル 1 ➡
- レベル 2 ➡
- レベル 3 ➡
- レベル 4 ➡

3 水硬度を設定する

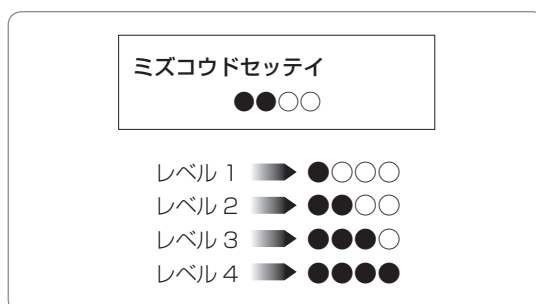
- ① (P) (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする



- ② コントロールノブを回してディスプレイに「ミズコウドセッテイ」と表示させ、(OK) ボタンを押して確定する



- ③ コントロールノブを回して水硬度のレベルを選び、(OK) ボタンを押して確定する



- ④ (ESC) ボタンを押し、プログラムモードを終了する

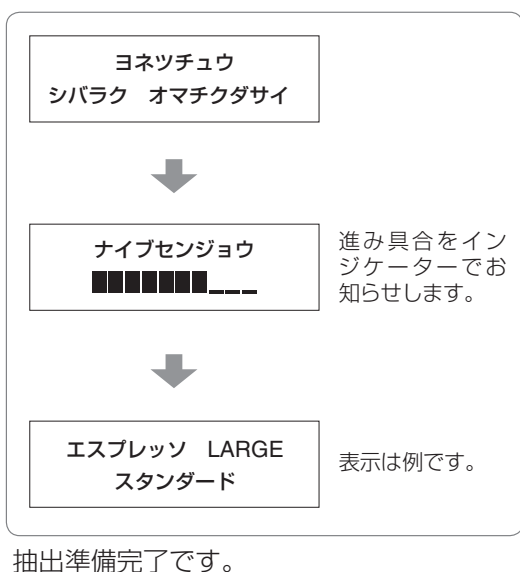


電源のオン／オフ

電源をオンにする

電源オンは次の手順で行います。

- ① プラグをコンセントに差し込む
- ② 主電源スイッチをオンにする
- ③ 容量 150mL 以上のカップを抽出口の下に置く
- ④ (電源) ボタンを押す
自動内部洗浄が始まります。



電源をオフにする

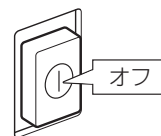
- ① (電源) ボタンを押す



内部洗浄後に電源がオフになります。

●待機時消費電力をゼロにしたい場合

- ① (電源) ボタンを押す
- ② ディスプレイが時刻表示に切り替わったら、主電源スイッチをオフにする
※ プログラムモードで時刻設定をしていない場合、時刻は表示されません。



●長期間使用しない場合

- ① (電源) ボタンを押す
- ② ディスプレイが時刻表示に切り替わったら、主電源スイッチをオフにする
- ③ プラグをコンセントから抜く

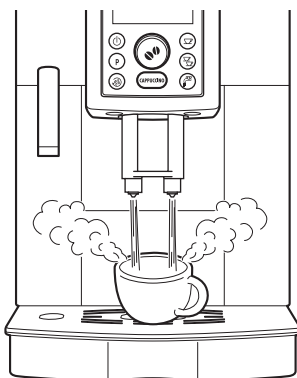
●主電源スイッチをオフにする／電源プラグを抜くと…

豆量と抽出量が初期設定に戻ります。

- ・豆量は「スタンダード」に戻ります。
- ・抽出量は「エスプレッソ LARGE」に戻ります。

自動内部洗浄

電源のオンとオフのときには、ディスプレイに「ナイブセンジョウ」と表示され、お湯で水の通り道の洗浄を行います。洗浄が終了するまで操作できません。



お湯の量の目安

電源オン時	約 60mL
電源オフ時	約 30mL

※ヒーターが温まっている状態では、電源をオンにしても自動内部洗浄が行われません。

※コーヒーを1杯も抽出せずに電源をオフにすると自動内部洗浄は行われません。

エスプレッソ抽出の基本

以下の項目を調整してお使いのコーヒー豆に適した抽出設定を行ってください。

コーヒー豆の量 (P.9)

コーヒーパウダー EXマイルド マイルド スタンダード ストロング EXストロング

少ない ← 豆の量 → 多い

* 抽出量が一定の場合 薄い ← 味* → 濃い

抽出量 (P.9)

マイコーヒー
20~180mL

エスプレッソ
30mL

エスプレッソ LARGE
40mL

ロングコーヒー
120mL

ロングコーヒー LARGE
150mL

※ お好みの抽出量を
設定できます。

少ない ← 抽出量 → 多い

濃い ← 味 → 薄い

抽出温度 (P.30)

低い ← 温度 → 高い

苦み・コク減 ← 味 → 苦み・コク増

ひき豆（コーヒー粉）の粒度／抽出速度（流量）の調整

グラインダーノブで調整します。

グラインダーノブは、エスプレッソが適正な状態で抽出されるよう、工場出荷時に「5」の目盛に設定されています。通常はこの設定のままお使いください。

お使いになる豆の種類や焙煎度などにより、抽出が早すぎる場合や、抽出が遅すぎる（ポタポタとしか抽出されない）場合、まったく抽出されない場合にのみ、グラインダーノブで調整します。

状態	対応	
- 抽出が遅すぎてポタポタとしか抽出されない。 - まったく抽出されない。	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に1目盛回してください。	 時計回りに1目盛回す（目盛りを大きくする）
抽出が早くて、クレマ（P.15）の色が薄すぎる。	グラインダーノブを細かいほう（反時計回り）に1目盛回してください。	 反時計回りに1目盛回す（目盛りを小さくする）

上記の要領で1目盛調整した後に抽出を行うと、2～3杯で徐々に抽出状態が変わっていきます。調整後も抽出が早すぎる／遅すぎる場合は、さらに1目盛回して再度調整してください。

お願い

グラインダーノブは、必ずグラインダーが作動しているときに回してください。グラインダーが停止しているときに無理に回すと、故障の原因となります。

エスプレッソとは

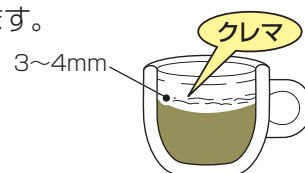
●エスプレッソの温度

エスプレッソの温度は 67 ～ 70℃ 前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー（85℃ 前後）と比べ相対的にぬるく感じるがありますが、異常ではございません。

●おいしいエスプレッソの簡単な見分けかた

「クレマ」と呼ばれる表面の細かい泡とその色から見分けることができます。

色は褐色がかったキャメル色（豆によっては焦げ茶色に近いキャメル色）、厚みは 3 ～ 4mm、クリーミーで、きめ細かい泡（グラニュー糖をのせても数秒は砂糖が泡の上に浮かぶほどクリーミーな泡）がおいしいエスプレッソのクレマです。



カップの温度

エスプレッソ抽出の前に、給湯機能を使ってカップをあらかじめ湯煎して温めておきます。カップが冷たいと、エスプレッソの温度が奪われ、クレマが薄くなったりアロマが失われてしまいます。

※ 湯煎したカップにエスプレッソを抽出する前に、湯煎に使ったお湯を捨てて清潔なふきんなどでカップ内の水滴をふき取ってください。

給湯機能の使いかた

カップを湯煎するとき、カフェ・アメリカノを作るときなど、お湯が必要なときに利用します。

1 給湯ノズルをセットする (P.10)

2 カップなどの容器を給湯ノズルの下にセットする

※ お湯がはねることがありますのでご注意ください。

3 (給湯) ボタンを押して給湯する

お湯が出ます。

※ スチーム管にスチームが残っていた場合、数秒間スチームが排出された後にお湯が出てきます。

キュウトウ

■■■■■_

インジケーターがいっぱいになると止まります。

※ 初期設定では、120mL でインジケーターがいっぱいになり、給湯が止まります。

※ お好みの湯量になったときに (給湯) ボタンを押すと、給湯が止まります。

ヒント 給湯量の設定を変更するには

初期設定では、(給湯) ボタンを押すと、120mL のお湯が給湯されます。給湯量を変更したい場合は、以下の手順を行ってください。

① (給湯) ボタンを8秒間押し続け、「キュウトウ リョウセッテイ」と表示されたら、ボタンから指をはなす

キュウトウ
リョウセッテイ



給湯が始まります。

② お好みの湯量になったら、(給湯) ボタンを押す



お湯が止まり、設定完了です。

エスプレッソの作りかた(豆を使う)

用意するもの

コーヒー豆



エスプレッソ(マシン)用と表記されている豆が最適です。店頭でコーヒー豆を焙煎してもらう場合には、フルシティ・ローストからフレンチ・ローストがおすすめです。

お願い

フレーバーコーヒーや冷凍・冷蔵状態のコーヒー豆は使用しないでください。(故障の原因)

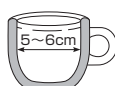
水



新鮮な水道水や軟水(日本の硬度: 90mg/L 以下)のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用すると石灰分が詰まりやすくなり、故障の原因となります。

カップ



エスプレッソ用には、容量約 50 ~ 80mL の肉厚のカップをお選びください。

1 水タンクに水を入れ、本体にセットする

① 水タンクに水を入れる

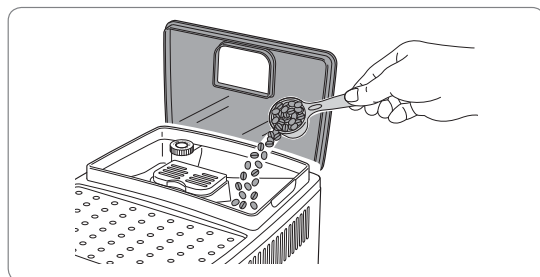
② 水タンクにふたをし、本体にセットする
※ しっかり奥まで差し込んでください。

2 電源をオンにする

● P.13 を参照。

3 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

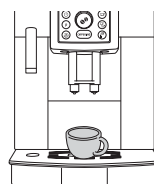
ふたを外して豆を入れ、ふたを閉じます。



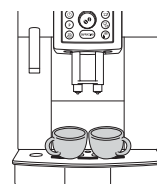
4 トレイにカップを置く

① 抽出口の下にカップを置く

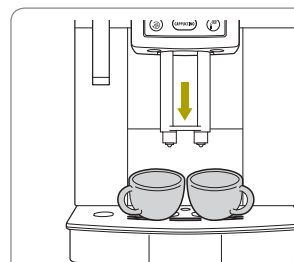
< 1 杯抽出するとき >



< 2 杯抽出するとき >



② 抽出口の高さを調節する



セットできるカップの
高さは約 14cm
までです。

5 豆量を設定する

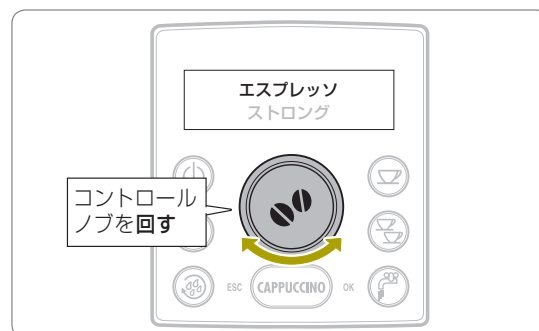
● P.9 を参照。



※ 設定は、抽出ボタンを押す前に行ってください。

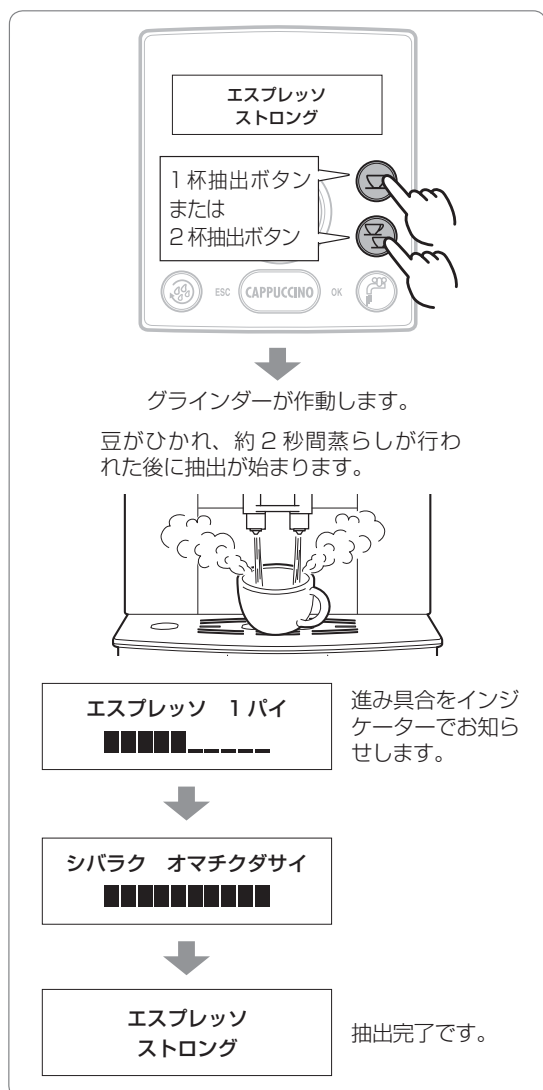
6 抽出量を設定する

● P.9 を参照。



※ 設定は、抽出ボタンを押す前に行ってください。

7 ☺（1 杯抽出）ボタンまたは☹（2 杯抽出）ボタンを押して抽出する



※ 設定した量が抽出されると、自動的に止まり、コーヒーカスがカス受けに捨てられます。

抽出が終わったら

電源をオフにします。(P.13)

お願い

抽出後、ディスプレイに「カスウケヲ カラニスル」と表示されたら、トレイを引き出し、たまっているコーヒーカスを捨ててください。(P.36)

本製品は、抽出杯数をカウントすることにより、カスを捨てるタイミングをお知らせしています。カス受けが満杯になっていなくても、ディスプレイに「カスウケヲ カラニスル」と表示されたら、必ずカスを捨ててください。

☺ ヒント

抽出を途中で止めたいとき／延長したいときは

●抽出を途中で止めたいとき

☺（1 杯抽出）ボタン、または☹（2 杯抽出）ボタンを押します。

●抽出を延長したいとき

抽出終了後（ポンプの動作音が止まった後）、2 秒以内に再度☺（1 杯抽出）ボタンまたは ☹（2 杯抽出）ボタンを押すと、押している間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

より熱いコーヒーをお好みの場合は

●抽出温度を上げる

プログラムモードで、抽出温度を「レベル 3」または「レベル 4」と高めに設定します。(P.30)

●本体内部を温める

手動内部洗浄を行い、本体内部を温めた後、コーヒーを抽出します。(P.37)

●カップを湯煎する

あらかじめ使用するカップを温めておきます。(P.15)

エスプレッソの作りかた（粉を使う）

用意するもの

コーヒー粉



エスプレッソ（マシン）用と表記されている極細びき～細びきの粉が最適です。

※ドリップコーヒー用の粉は、ひき具合が粗いので不向きです。

お願い

インスタントコーヒーやココアパウダーなどは使用しないでください。（故障の原因）

水

新鮮な水道水や軟水（日本の硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用すると石灰分が詰まりやすくなり、故障の原因となります。

カップ



エスプレッソ用には、容量約 50 ～ 80mL の肉厚のカップをお選びください。

1 水タンクに水を入れ、本体にセットする

① 水タンクに水を入れる

② 水タンクにふたをし、本体にセットする

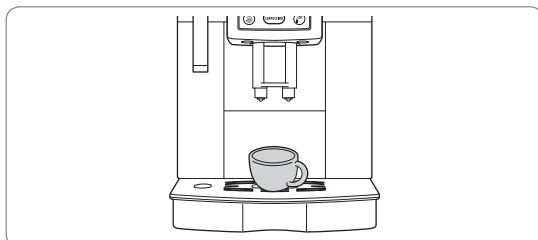
※ しっかり奥まで差し込んでください。

2 電源をオンにする

● P.13 を参照。

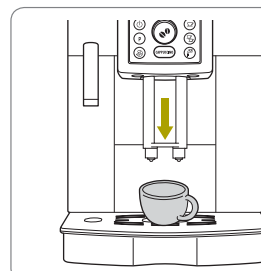
3 トレイにカップを置く

① 抽出口の下にカップを置く



※ 粉を使って抽出する場合は、1 杯分のみの抽出となります。

2 抽出口の高さを調節する



セットできるカップの
高さは約 14cm まで
です。

4 コントロールノブを押して「コーヒーパウダー」を選ぶ

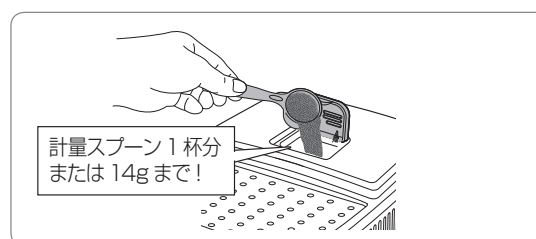


※ 設定は、☉（1 杯抽出）ボタンを押す前に行ってください。

5 パウダー投入口にコーヒー粉を入れる

パウダー投入口のふたを開けてコーヒー粉を入れ、ふたを閉じます。

※ 豆ホッパーに入れないでください。



お願い

● 電源オフ時にコーヒー粉を入れないでください。粉が本体内部に散り、故障の原因になります。

● コーヒー粉を計量スプーン 1 杯分または 14g 以上入れないでください。本体内部に粉が散ったり、パウダー投入口が詰まり、故障の原因になります。

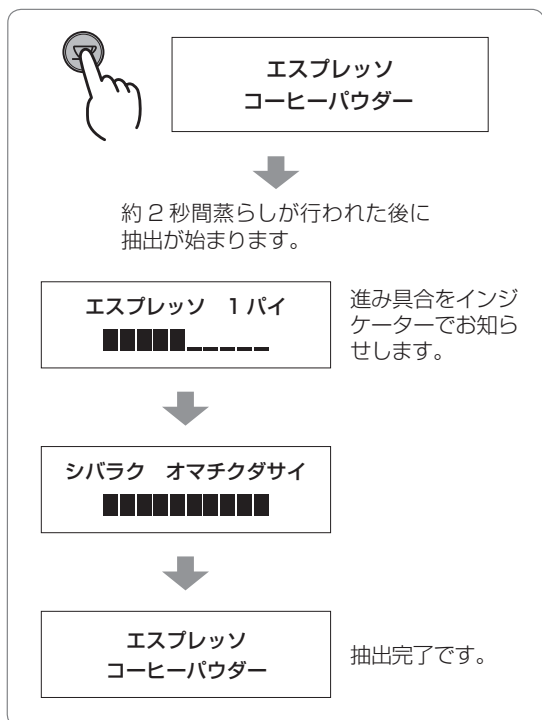
6 抽出量を設定する

●P.9 を参照。



※ 設定は、☑（1 杯抽出）ボタンを押す前に行ってください。

7 ☑（1 杯抽出）ボタンを押して抽出する



※ 設定した量が抽出されると、自動的に止まり、コーヒーカスがカス受けに捨てられます。

抽出が終わったら

電源をオフにします。(P.13)

お願い

抽出後、ディスプレイに「カスウケヲ カラニスル」と表示されたら、トレイを引き出し、たまっているコーヒーカスを捨ててください。(P.36)

本製品は、抽出杯数をカウントすることにより、カスを捨てるタイミングをお知らせしています。カス受けが満杯になっていなくても、ディスプレイに「カスウケヲ カラニスル」と表示されたら、必ずカスを捨ててください。



ヒント

抽出を途中で止めたいとき／延長したいときは

●抽出を途中で止めたいとき

☑（1 杯抽出）ボタン ☑ を押します。

●抽出を延長したいとき

抽出終了後（ポンプの動作音が止まった後）、2 秒以内に再度 ☑（1 杯抽出）ボタン ☑ を押すと、押している間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

より熱いコーヒーをお好みの場合は

●抽出温度を上げる

プログラムモードで、抽出温度を「レベル 3」または「レベル 4」と高めに設定します。(P.30)

●本体内部を温める

手動内部洗浄を行い、本体内部を温めた後、コーヒーを抽出します。(P.37)

●カップを湯煎する

あらかじめ使用するカップを温めておきます。(P.15)

ホットコーヒーの作りかた

作りかた① ロングコーヒーを作る

用意するもの

コーヒー豆またはコーヒー粉



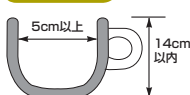
深煎りのレギュラーコーヒー用をお使いください。フルシティ・ローストからフレンチ・ローストがおすすめです。
※コーヒー粉から抽出する場合は、中細びき～中びきの粉をお使いください。

水



新鮮な水道水や軟水のミネラルウォーターが適しています。

カップ



容量約 180mL 以上のコーヒーカップまたはマグカップをご用意ください。

1 水タンクに水を入れ、本体にセットする

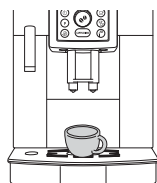
- ① 水タンクに水を入れる
- ② 水タンクにふたをし、本体にセットする
※ しっかり奥まで差し込んでください。

2 電源をオンにする

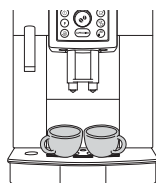
- P.13 を参照。

3 トレイにカップを置く

< 1 杯抽出するとき >



< 2 杯抽出するとき >



※ 2 杯抽出は豆を使った抽出時のみ

4 コントロールノブでロングコーヒー用の設定をする (P.9)

● コーヒー豆を使う場合



● コーヒー粉を使う場合



5 コーヒー豆（またはコーヒー粉）を入れる

● P.16、P.18 を参照。

< コーヒー粉の場合 >

約 7 ～ 10g
(計量スプーンすり切り～小山盛り 1 杯)



※ 計量スプーン 1 杯分または 14g 以上入れないでください。

6 抽出する

● コーヒー豆を使う場合

☑ (1 杯抽出) ボタンまたは ☑ (2 杯抽出) ボタンを押します。

● コーヒー粉を使う場合

☑ (1 杯抽出) ボタンを押します。

抽出が終わったら

電源をオフにします。(P.13)

作りかた② カフェ・アメリカノを作る (エスプレッソをお湯で割る)

エスプレッソをお湯で割ったものがカフェ・アメリカノです。

用意するもの

コーヒー豆またはコーヒー粉

深煎りのレギュラーコーヒー用をお使いください。フルシティ・ローストからフレンチ・ローストがおすすめです。

※ コーヒー粉から抽出する場合は、極細びき～細びきの粉をお使いください。

水



新鮮な水道水や軟水のミネラルウォーターが適しています。

カップ



容量約 180mL 以上のコーヒーカップまたはマグカップをご用意ください。

1 水タンクに水を入れ、本体にセットする

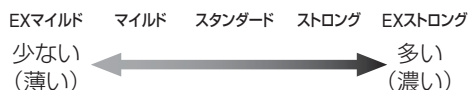
2 電源をオンにする

●P.18 を参照。

3 トレイにカップを置く

4 豆量を設定する

コントロールノブを押し、お好みの豆量を選びます。



● コーヒー粉を使う場合

コントロールノブを押し、「コーヒーパウダー」を選びます。

5 抽出量を選ぶ

コントロールノブを回し、「エスプレッソ」を選びます。



※ エスプレッソの抽出量は約 30mL です。

6 コーヒー豆 (またはコーヒー粉) を入れる

●P.16、P.18 を参照。

7 抽出する

● コーヒー豆を使う場合

☞ (1 杯抽出) ボタンまたは ☞ (2 杯抽出) ボタンを押します。

● コーヒー粉を使う場合

☞ (1 杯抽出) ボタンを押します。

8 給湯機能を使って別容器にお湯を 90mL 出す

●P.15 を参照。

※ 7でエスプレッソを 2 杯分抽出した場合は、お湯を 180mL 出します。



ヒント

90mL はあくまでも目安です。エスプレッソとお湯の比率やエスプレッソの豆量を変えることで、味の濃さを調整できます。

9 7で抽出したエスプレッソをお湯で割る

抽出が終わったら

電源をオフにします。(P.13)

カプチーノ／カフェラテの作りかた

カプチーノとカフェラテは、ミルクコンテナのふたにある「フロス調整つまみ」を調整することで作り分けることができます。

用意するもの

コーヒー豆またはコーヒー粉

エスプレッソ用のコーヒー豆 (P.16) またはコーヒー粉 (P.18)

水

水道水または軟水のミネラルウォーター (P.16)

牛乳



成分無調整／乳脂肪分 3.0% 以上の 10℃以下* に保存された、新鮮な牛乳をお使いください。

* 温度は、牛乳で案内されている保存方法の通りに保管されたものを目安としてください。

※加工乳や低脂肪乳、また一度温めた牛乳は、泡立ちがよくありません。

カップ



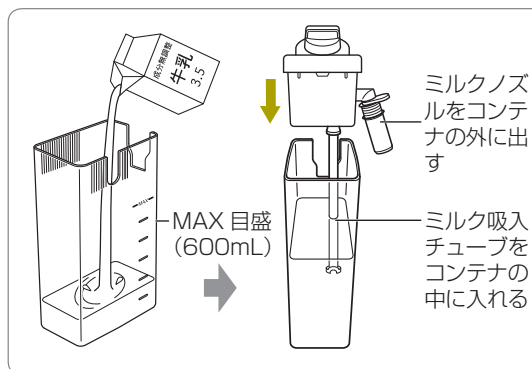
カプチーノ用には、容量約 150 ～ 180mL の肉厚のカップをお選びください。

1 水タンクに水を入れ、本体にセットする

2 電源をオンにする

●P.13 を参照。

3 ミルクコンテナに必要な分量の牛乳を入れ、ふたをする

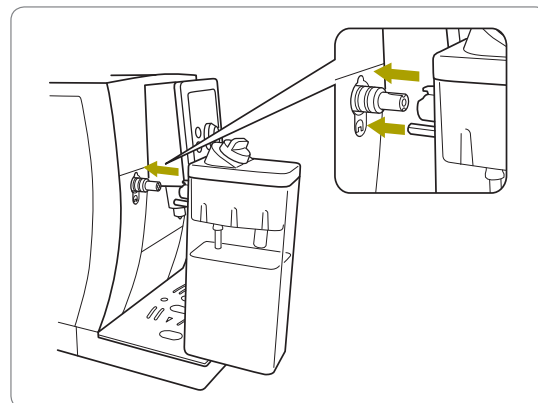


※ 牛乳はミルクコンテナの目盛 2 つ分以上の量を入れてください。初期設定では、1 杯あたり 120mL 程度の牛乳が必要です。

※ ミルク吸入チューブがふたにしっかり取り付けられていることを確認してください。(P.8)

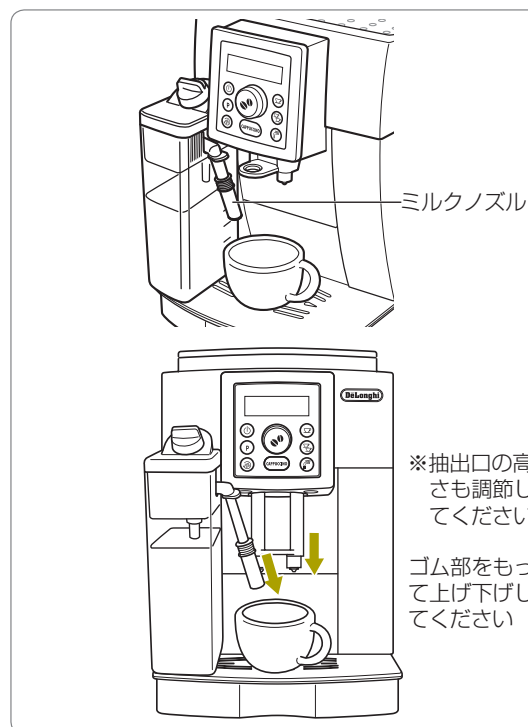
※ 本体に給湯ノズルが取り付けられている場合は、給湯ノズルを取り外してからミルクコンテナをセットしてください。

4 ミルクコンテナを本体にセットする



※ ピーという音が鳴るまでしっかり押し込んでセットしてください。(ピー音の設定を OFF にすると音は鳴りません)

5 トレイにカップを置き、ミルクノズルをカップに向け、長さを調節する



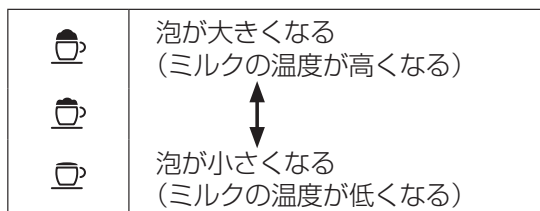
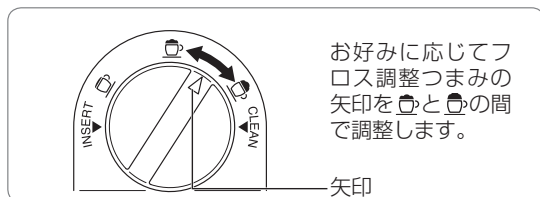
※ 抽出口の高さも調節してください

ゴム部をもって上げ下げしてください

カップは、抽出口から出てくるコーヒーと、ミルクノズルから出てくる牛乳の両方が注がれる位置に置いてください。

6 ミルクコンテナふたの「フロス調整つまみ」の位置を調整する

●カプチーノを作るとき

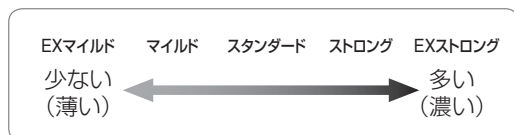


●カフェラテを作るとき



7 コントロールノブで豆量の設定をする (P.9)

コントロールノブを押し、お好みの豆量を選びます。



●コーヒー粉を使う場合

コントロールノブを押し、「コーヒーパウダー」を選びます。

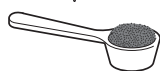
初期設定の量で抽出します。抽出量を変更することもできます。(P.24)

8 コーヒー豆 (またはコーヒー粉) を入れる

●P.16、P.18 を参照。

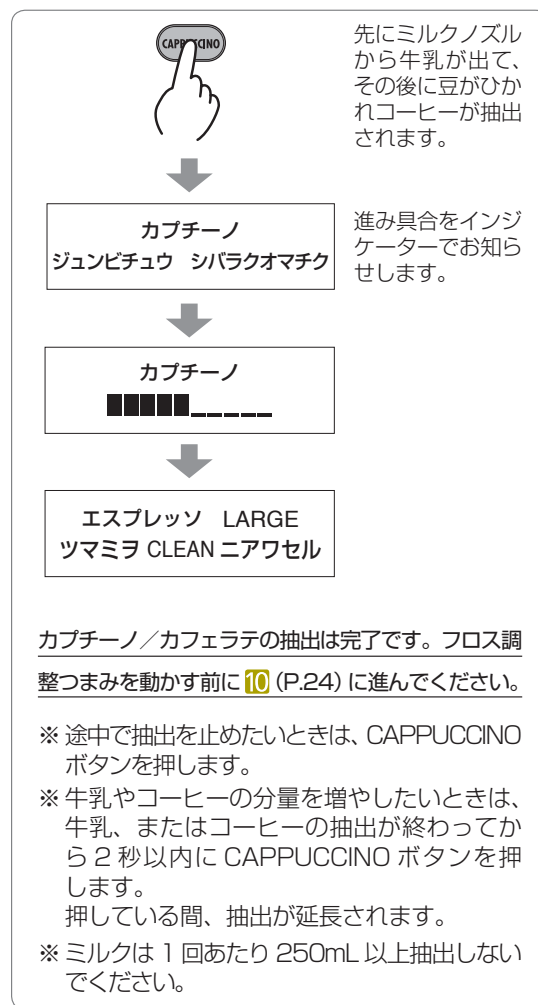
<コーヒー粉の場合>

約 7 ~ 10g
(計量スプーンすり切り ~ 小山盛り 1 杯)



※計量スプーン 1 杯分または 14g 以上入れないでください。

9 CAPPUCCINO ボタンを押す



お願い

本体にミルクコンテナを取り付けた状態でトレイを引き出さない。(破損の原因)

知っていただきたいこと

以下の場合にトレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまりますが、異常ではありません。

- ・フロスマルク／スチームミルクを出した後
- ・フロス調整つまみを CLEAN にあわせてミルクノズルを洗浄した後 (P.24 の 10 を参照)

カプチーノ／カフェラテの作りかた

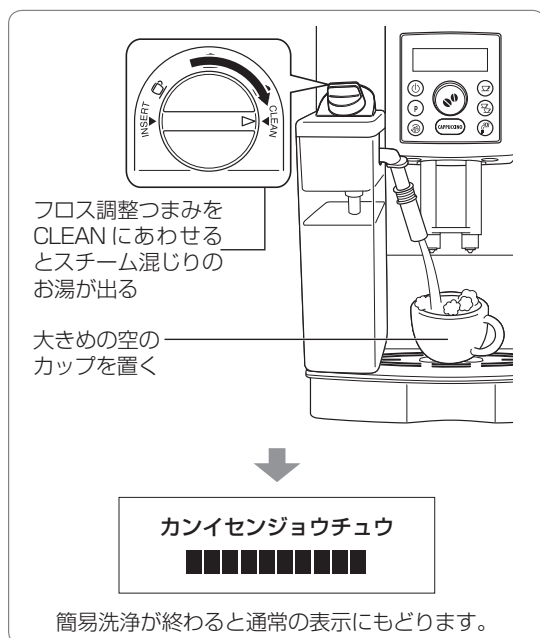
カプチーノ／カフェラテの作りかた（つづき）

10 ミルクノズルを洗浄する

お願い

使用後は必ずミルクノズルを洗浄してください。フロスミルクの泡立ちが悪くなるなど、故障の原因となります。

- ① 本体にミルクコンテナを取り付けた状態のまま、ミルクノズルの下に空の容器を置く
- ② フロス調整つまみを CLEAN にあわせて、インジケーターがいっぱいになるまで洗浄する
- ③ フロス調整つまみを CLEAN の位置から、☐～☐の間に戻す



牛乳が残った時は、一時的にミルクコンテナを冷蔵庫に入れるなど、衛生面にご注意ください。

1 日の終わりには…

必ずミルクコンテナに残った牛乳を廃棄し、十分に洗浄してください。(P.34)
また、必ずスチーム管もお手入れしてください。(P.33)
スチーム管についたミルクが乾いて固まってしまうと、ミルクが正常に抽出されないなど、故障の原因となります。



カプチーノの初期設定の量（目安）

牛乳：約 120mL } 約 150mL
コーヒー：約 30mL }

※ 上記の量はあくまでも目安です。

牛乳とコーヒーの抽出量を変更するには

実際に牛乳とコーヒーを抽出しながら、抽出量を設定します。

- ① ミルクコンテナをセットし、トレイにカップを置く
- ② ディスプレイに「ミルク（カプチーノ）リョウセッテイ」と表示されるまで、CAPPUCCINO ボタンを押し続ける



ミルク（カプチーノ）
リョウセッテイ

左の表示が出たら
ボタンを離します。
牛乳の抽出が始ま
ります。

※ ミルクは1回あたり250mL 以上抽出しないでください。

- ③ お好みの量の牛乳が抽出されたところで、再度 CAPPUCCINO ボタンを押す

コーヒー（カプチーノ）
リョウセッテイ

牛乳の抽出が止ま
り、抽出量が設定
され、コーヒーの
抽出が始まります。

- ④ お好みの量のコーヒーが抽出されたところで、再度 CAPPUCCINO ボタンを押す
コーヒーの抽出が止まり、抽出量が設定されます。

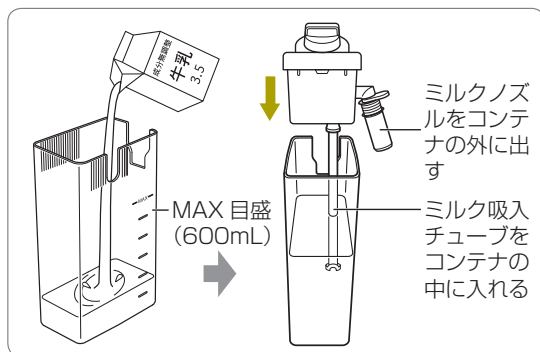
- ⑤ ミルクノズルを洗浄する

左記10を参照。

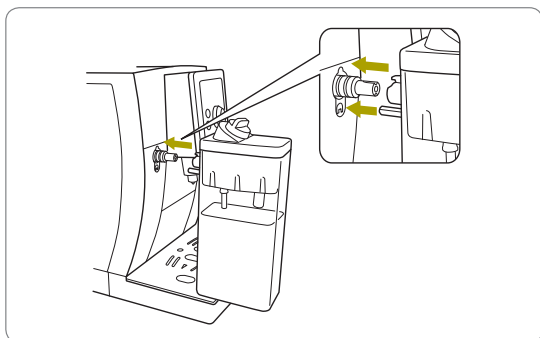
フロスマルク／スチームミルクの作りかた

エスプレッソを抽出せずに、フロスマルクやスチームミルクだけを作ることができます。

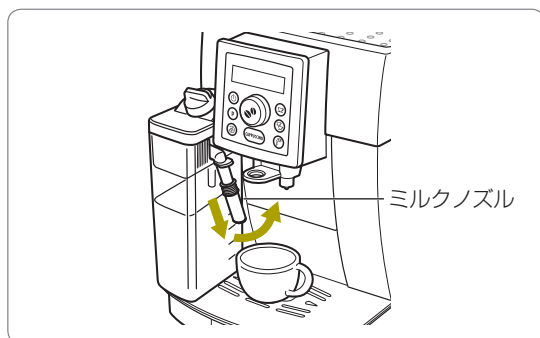
1 ミルクコンテナに必要な分量の牛乳を入れ、ふたをする



2 ミルクコンテナを本体にセットする

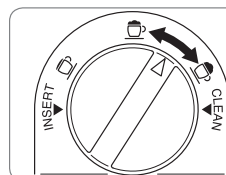


3 カップを置き、ミルクノズルをカップに向け、長さを調節する



4 ミルクコンテナの「フロス調整つまみ」の位置を調整する

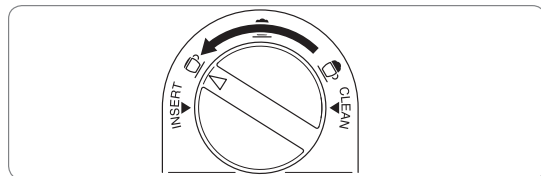
- フロスマルク（泡立てたミルク）を作るとき
☺と☺の間の位置で調整します。



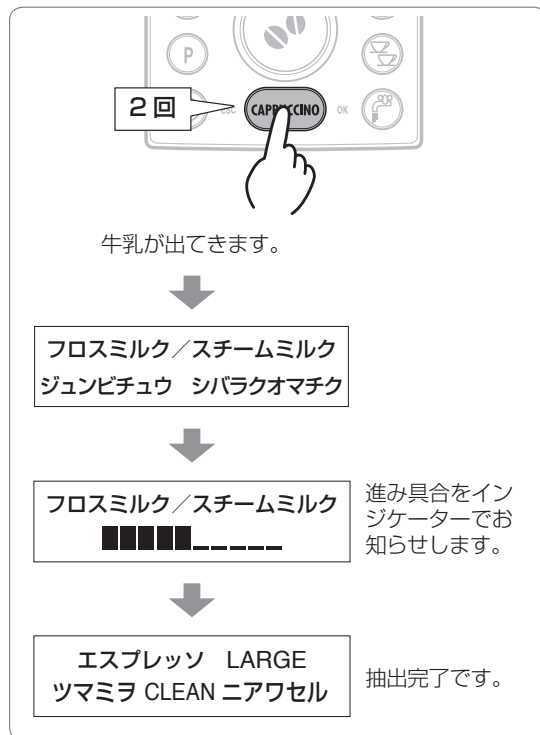
お好みに応じてフロス調整つまみの矢印を☺と☺の間で調整します。

- スチームミルク（泡の少ないミルク）を作るとき

☺の位置に合わせます。



5 CAPPUCCINO ボタンを2回押す



6 ミルクノズルを洗淨する

- P.24 の10を参照。



ヒント フロスマルクとスチームミルクの量について

フロスマルクとスチームミルクの初期設定の量は120mLです。この量はP.24の「ヒント」で牛乳とコーヒーの抽出量を変更するには」で牛乳量の設定を変更すると自動的に同じ量に変わります。

※ ミルクは1回あたり250mL以上抽出しないでください。

アイスメニューの作りかた（レシピ）

材料の分量は目安です。お好みに応じて調節してください。

カフェ・シェケラート

抽出したてのエスプレッソを氷で一気に冷やすため、芳醇な味と香りはそのままです。イタリアで広く愉しまれるアイスコーヒーです。



●材料（1 杯分）

コーヒー豆（深煎り）、砂糖（グラニュー糖）：約 20g

- ① お好みの豆量のエスプレッソを約 60mL 抽出する
抽出量を「エスプレッソ」に設定し、「☞（2 杯抽出）ボタン」を押すと、約 60mL 抽出されます。
- ②シェイカーに砂糖（グラニュー糖）を入れる
- ③ ②に①を入れてよく混ぜ、砂糖を溶かす
- ④ 氷を加え、ふたをして強く振る
氷をシェイカーの壁にぶつけるよう強く振ります。
- ⑤ ④のシェイカーが冷えたら、中身をグラスに注ぎ入れる
このとき、中の氷が落ちないようにふたを半開きにして注いでください。

アイス・カフェラテ

冷たい牛乳にエスプレッソを注いで作る、定番ドリンクです。



●材料（1 杯分）

コーヒー豆（深煎り）、牛乳：120mL

- ① お好みの豆量のエスプレッソを約 30mL 抽出する
抽出量を「エスプレッソ」に設定し、「☞（1 杯抽出）ボタン」を押すと、約 30mL 抽出されます。
- ② グラスにたっぷりの氷を入れ、冷たい牛乳を注ぐ
- ③ ②に①を入れ、お好みでガムシロップを加える
エスプレッソを注ぐ際には、氷にあてるように静かに注ぎます。

アフォガート

アフォガートとはイタリア語で「溺れる」という意味。アイスクリームがエスプレッソの中で溺れているように見えることから名づけられました。



●材料（1 杯分）

コーヒー豆（深煎り）、市販のバニラアイス：約 70 ～ 100g

- ① お好みの豆量のエスプレッソを約 30mL 抽出する
抽出量を「エスプレッソ」に設定し、「☞（1 杯抽出）ボタン」を押すと、約 30mL 抽出されます。
- ② バニラアイスを冷やしたグラスに入れる
- ③ ②に①を注ぐ
- ④ お好みで生クリームやチョコレートソースなどをかける

プログラムモード

本製品には、コーヒーやカプチーノを作る操作などを行う「通常モード」と、設定の変更や登録などを行う「プログラムモード」があります。

Ⓟ（プログラム）ボタンを押して、通常モードとプログラムモードを切り替えます。

プログラムモードのメニュー一覧

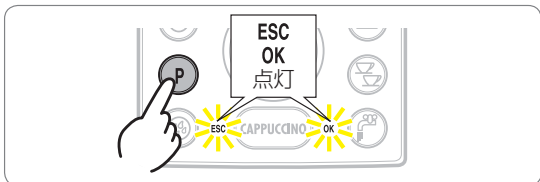
メニュー	ディスプレイ表示（日本語）	内 容	説明ページ
石灰の除去	ジョセッカイ	石灰の除去を行います。	37
時刻の設定	ジコクセッテイ	現在の時刻を本体にセットします。	29
オートスタートの設定	オートスタート	設定した時刻になると自動的に電源がオンになる「オートスタート」を設定します。	29
オートオフの設定	オートオフ	何も操作しない時間が続いたときに、自動的に本体の電源が切れるまでの時間を設定します。	29
節電機能の設定	セツデンモード	操作をしていないときの消費電力を抑える節電機能の使用する／使用しないを設定します。	30
抽出温度の設定	オンドセッテイ	コーヒーの抽出温度を 4 段階で設定します。	30
水硬度の設定	ミズコウド セッテイ	水硬度チェッカーで測定した水硬度レベル（P.12）を登録します。	12
言語の設定	ゲンゴセッテイ	液晶ディスプレイの表示言語を設定します。	11
ビープ音の設定	ソウサカクニンオン（ビープ）	ボタンの操作時と給湯ノズルなどの部品の着脱時に操作確認音を出す／出さないを設定します。	30
カップ照明の設定	カップイルミネーション	コーヒー、カプチーノの抽出時と自動内部洗浄時にカップ照明を使用する／使用しないを設定します。	31
リセット	プログラムリセット	すべての設定を、工場出荷時の初期値に戻します。	31
使用履歴の表示（累計表示）	ソウサリレキ	抽出したコーヒー／カプチーノの杯数や石灰除去を行った回数などの累計を表示します。	31

プログラムモード (つづき)

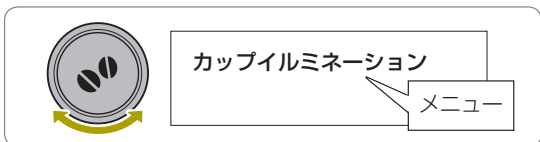
基本操作

設定項目が1つのメニュー

- ① (P) (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする



- ② コントロールノブを回し、選みたいメニュー項目を表示させる

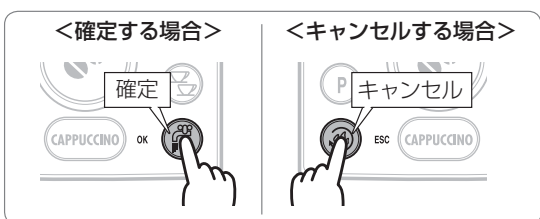


- ③ (OK) ボタンを1回押し、確認メッセージを表示させる

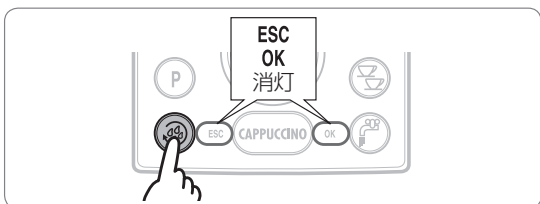


※ コントロールノブを回して「ON ?」と「OFF ?」の確認メッセージを切り替えます。

- ④ 確定する場合は (OK) ボタン、キャンセルする場合は (ESC) ボタンを押す

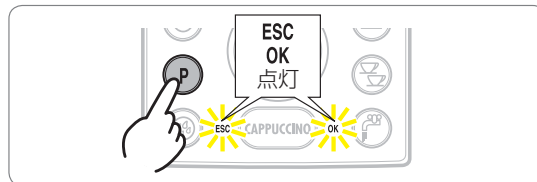


- ⑤ (ESC) ボタンを押し、プログラムモードを終了する

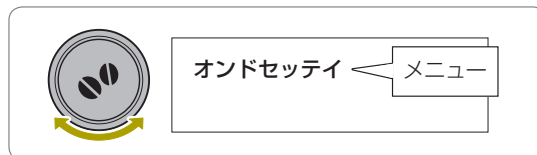


設定項目が2つ、またはそれ以上のメニュー

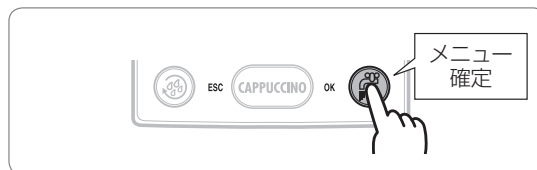
- ① (P) (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする



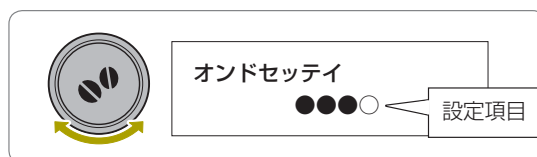
- ② コントロールノブを回し、選みたいメニュー項目を表示させる



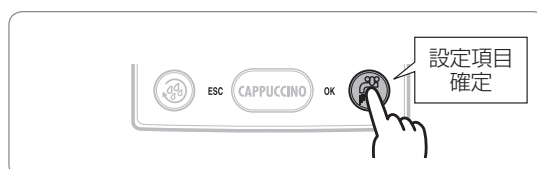
- ③ (OK) ボタンを押し、確定する



- ④ コントロールノブを回し、選みたい設定値などを表示させる



- ⑤ (OK) ボタンを押し、確定する



※ キャンセルする場合は、(ESC) ボタンを押します。

- ⑥ (ESC) ボタンを押し、プログラムモードを終了する

ヒント

操作中にキャンセルしたりプログラムモードを終了したいときは (ESC) ボタンを押します。

時刻の設定（ジコクセッテイ）

現在の時刻を本体にセットします。

- ① **P**（プログラム）ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「ジコクセッテイ」を表示させる
- ③ **OK**（OK）ボタンを押し、時刻設定を表示させる
- ④ コントロールノブを回して「時」を合わせ、**OK**（OK）ボタンを押して確定する
- ⑤ コントロールノブを回して「分」を合わせ、**OK**（OK）ボタンを押して確定する
- ⑥ **ESC**（ESC）ボタンを押し、プログラムモードを終了する

オートスタートの設定（オートスタート）

設定した時刻になると毎日自動的に電源がオンになる「オートスタート」を設定します。

※自動的にコーヒーが抽出される機能ではありません。

オートスタートを設定する前に、必ず時刻の設定をしてください。（P.29）

- ① **P**（プログラム）ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「オートスタート」を表示させる
- ③ **OK**（OK）ボタンを押し、「ON？」を表示させる
※すでに設定済のオートスタートを解除するにはコントロールノブを回して「OFF？」を表示させ、**OK**（OK）ボタンを押します。
- ④ オートスタートを設定する場合は**OK**（OK）ボタンを押す
- ⑤ コントロールノブを回して「時」を合わせ、**OK**（OK）ボタンを押して確定する
- ⑥ コントロールノブを回して「分」を合わせ、**OK**（OK）ボタンを押して確定する
※「オートスタート」の下に「」が表示されていれば、オートスタートを使用する設定になっています。
- ⑦ **ESC**（ESC）ボタンを押し、プログラムモードを終了する
※電源オフにすると、時刻表示の横に「」が表示されます。

オートオフの設定（オートオフ）

初期設定は、使用しない時間が長く続いた場合、2 時間後に自動的に電源がオフになるように設定されています。この電源オフまでの時間を変更できます。

- ① **P**（プログラム）ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回して「オートオフ」を表示させ、**OK**（OK）ボタンを押して確定する
- ③ コントロールノブを回して電源オフまでの時間を選び、**OK**（OK）ボタンを押して確定する
※キャンセルする場合は、**ESC**（ESC）ボタンを押します。
- ④ **ESC**（ESC）ボタンを押し、プログラムモードを終了する

時間	表示
15 分	15 フンゴ
30 分	30 フンゴ
1 時間	1 ジカンゴ
2 時間	2 ジカンゴ
3 時間	3 ジカンゴ

プログラムモード (つづき)

節電機能の設定 (セツデンモード)

節電機能を使用する／使用しないを設定します。初期設定は「使用する」になっています。

- ① **P** (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「セツデンモード」を表示させる
- ③ **OK** ボタンを押し、「ON ?」または「OFF ?」を表示させる
- ④ コントロールノブを回して「ON ?」(節電機能を使用する) か「OFF ?」(使用しない) を選び **OK** ボタンを押して確定する
「セツデンモード」の下に「*」が表示されていれば、
節電機能を使用する設定になっています。
- ⑤ **ESC** ボタンを押し、プログラムモードを終了する
※ 電源オン時、しばらく操作をしないと液晶ディスプレイに「セツデンモード」と表示されます。

使用する

セツデンモード
*

使用しない

セツデンモード

抽出温度の設定 (オンドセッテイ)

抽出温度を 4 段階から選ぶことができます。初期設定はレベル2になっています。

- ① **P** (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回して「オンドセッテイ」を表示させ、
OK ボタンを押して確定する
- ③ コントロールノブを回して温度レベルを選び、**OK** ボタンを押して確定する
※ キャンセルする場合は、**ESC** ボタンを押します。
- ④ **ESC** ボタンを押し、プログラムモードを終了する

レベル 1	● ○ ○ ○	低い ↑
レベル 2	● ● ○ ○	
レベル 3	● ● ● ○	↓ 高い
レベル 4	● ● ● ●	

※ 室温などにより温度差があります。

ビープ音の設定 (ソウサカクニンオン (ビープ))

ボタンの操作時や、給湯ノズルなど部品の着脱時に鳴る「ビープ音」の設定をします。
初期設定は「ビープ音を鳴らす」設定になっています。

- ① **P** (プログラム) ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「ソウサカクニンオン (ビープ)」を表示させる
- ③ **OK** ボタンを押し、「ON ?」または「OFF ?」を表示させる
- ④ コントロールノブを回して「ON ?」(ビープ音を鳴らす) か「OFF ?」(ビープ音を鳴らさない) を選び、**OK** ボタンを押して確定する
※ 「ソウサカクニンオン (ビープ)」の下に「*」が表示されていれば、ビープ音を
鳴らす設定になっています。
- ⑤ **ESC** ボタンを押し、プログラムモードを終了する

鳴らす

ソウサカクニンオン (ビープ)
*

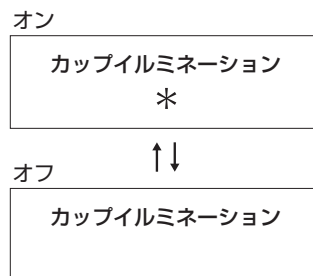
鳴らさない

ソウサカクニンオン (ビープ)

カップ照明の設定（カップイルミネーション）

コーヒーやカプチーノを抽出するとき、または内部洗浄が行われるときに、LED 照明でカップを照らします。初期設定では「カップ照明オン」の設定になっています。

- ① **P**（プログラム）ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「カップイルミネーション」を表示させる
- ③ **F**（OK）ボタンを押し、「ON？」または「OFF？」を表示させる
- ④ コントロールノブを回して「ON？」（カップを照らす）か「OFF？」（照らさない）を選び、**F**（OK）ボタンを押して確定する
※「カップイルミネーション」の下に「＊」が表示されていれば、カップを照らす設定になっています。
- ⑤ **ESC**（ESC）ボタンを押し、プログラムモードを終了する



設定のリセット（プログラムリセット）

設定を初期設定の状態に戻します。

- ① **P**（プログラム）ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回し、「プログラムリセット」を表示させる
- ③ **F**（OK）ボタンを押し、「OK デスカ？」を表示させる
- ④ リセットを確定する場合は **F**（OK）ボタンを押す
※ 確定すると自動的にプログラムモードが終了します。
※ リセットを中止する場合は、**ESC**（ESC）ボタンを 2 回押します。

リセットを行うと、以下の項目が初期設定に戻ります。

- 節電機能：使用する
- オートオフ：2 時間後
- 抽出温度設定：レベル 2
- 水硬度設定：1
- ビープ音：オン
- カップ照明：オン
- ※ 使用状況の表示はリセットされません。

使用履歴の表示（累計表示）（ソウサリレキ）

コーヒーを抽出した杯数、カプチーノを抽出した杯数、使用水量の累計（リットル）、石灰の除去を行った回数を表示します。

- ① **P**（プログラム）ボタンを押し、プログラムモードにする
- ② コントロールノブを回して「ソウサリレキ」を表示させ、**F**（OK）ボタンを押して確定する
- ③ コントロールノブを回し、累計表示したい項目を選ぶ

コーヒーを抽出した杯数	カプチーノを抽出した杯数	使用水量の累計（リットル）	石灰の除去を行った回数
コーヒー ハイスウ	カプチーノ ハイスウ	ショウスイリョウ（リットル）	ジョセッカイ カイスウ

累計が表示されます。

- ④ **ESC**（ESC）ボタンを 2 回押し、プログラムモードを終了する

本製品は工場ですべて 1 台 1 台抽出試験を行って出荷されています。そのため初めてお使いになる場合でも、数杯～数十杯分のコーヒー抽出杯数の履歴が残っていますがご了承ください。

お手入れ

お手入れはこまめに！

いつも清潔な状態で使用するために、こまめにお手入れしましょう。



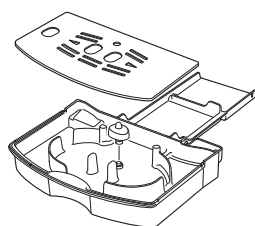
！お手入れは、電源プラグを抜き、各部が冷めてから行う。(やけどの原因)
※手動内部洗浄、石灰の除去、スチーム管のお手入れ、ミルクノズルの洗浄の際は除く。

お手入れ時のご注意

- 漂白剤、ベンジン、シンナーなどは使用しない。(変形や割れる原因)
- ワイヤーワール、たわし、金ブラシ、研磨剤、スポンジのナイロン面などは使用しない。(表面が傷つく原因)
- 台所用洗剤(中性)を使う場合は、薄めて使う。
- 食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使わない。(変形や割れる原因)

水洗いできるものとできないもの

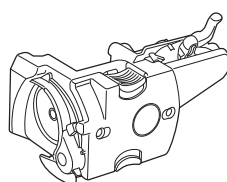
水洗いできるもの



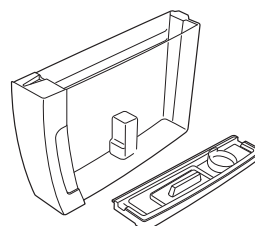
トレイ、カップ受け、水位計



トレイカバー



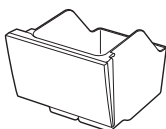
抽出ユニット



水タンク



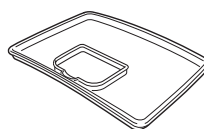
給湯ノズル



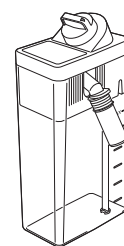
カス受け



水滴受け

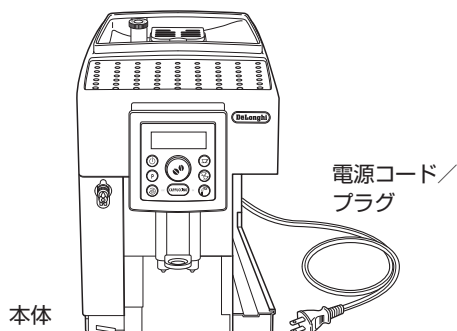


豆ホッパーふた



ミルクコンテナ

水洗いできないもの



本体

電源コード/
プラグ

- 固く絞った濡れふきんで拭きます。
汚れがひどい場合は、少量の台所用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れふきんで洗剤をよく拭いてください。
- 豆ホッパー内は乾いた布巾で拭きます。(P.36)

毎回使用後に行うお手入れ

ミルクノズル

洗浄する

衛生のため、ミルクコンテナを使用した後は、必ずミルクノズル内部の洗浄をしてください。(P.24)

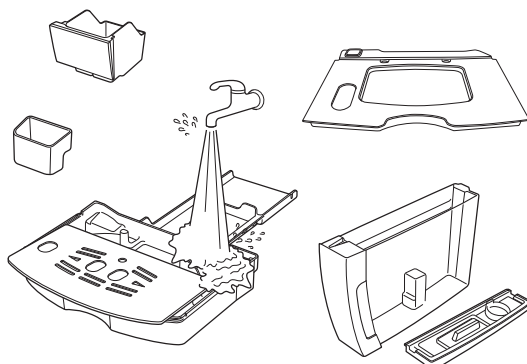
その日の最終使用後に行うお手入れ

トレイ、トレイカバー、水位計、カップ受け、カス受け、水滴受け、水タンク、給湯ノズル、スチーム管

水洗い、乾燥

1日の使用が終わったら、本体からそれぞれを取り外し、台所用洗剤を使って水洗いします。乾いたら元に戻します。

※トレイとカス受けは、最終使用後以外にも必要に応じてお手入れを行ってください。(P.36)



水洗いできません

① スチーム管の周囲を掃除する



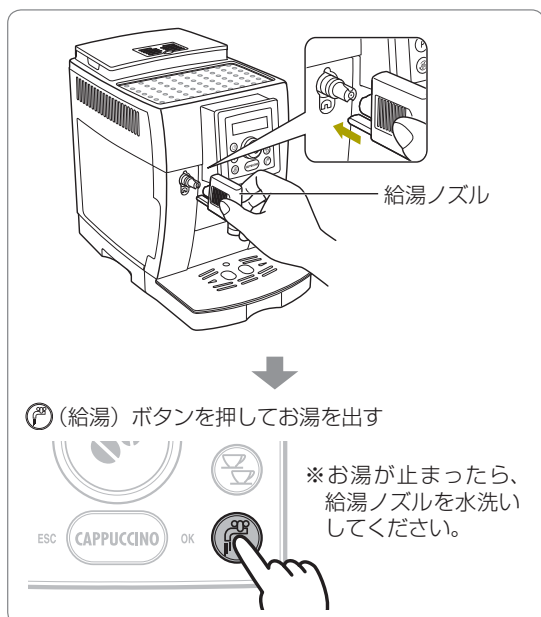
※先の細い柔らかいブラシで掃除し、固く絞った濡れふきんで、スチーム管とパッキンを丁寧に拭いてください。

② スチーム管の内部を掃除する

先の細い柔らかいブラシや、爪楊枝などを使って、内部の小さな穴の奥まできれいにします。

③ 給湯ノズルを取り付け、お湯を出して洗浄する

電源オンの状態で行います。



お手入れ(つづき)

その日の最終使用後に行うお手入れ(つづき)

ミルクコンテナ

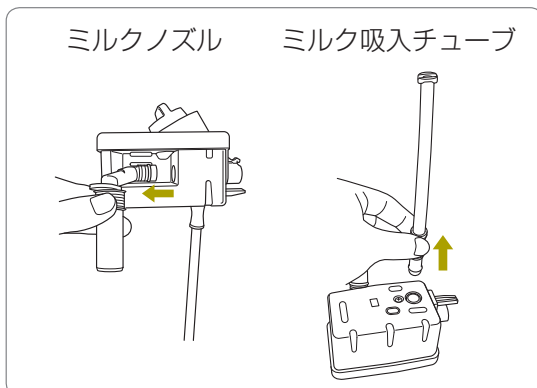
水洗い、乾燥

1 日の使用が終わったら、ミルクコンテナを取り外して洗浄します。

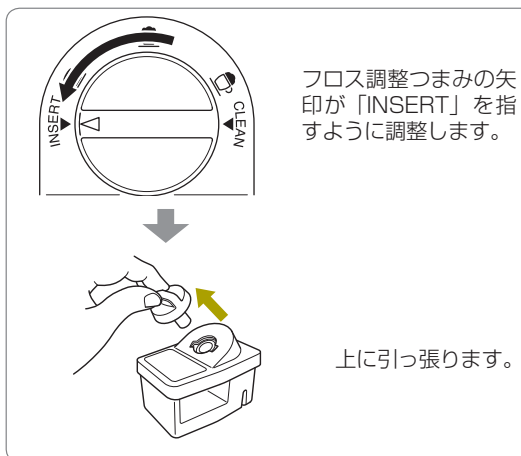
① ミルクコンテナを取り外す



② ミルクコンテナのふたからミルクノズルとミルク吸入チューブを取り外す



③ ミルクコンテナのふたからフロス調整つまみを取り外す



④ めるま湯と台所用洗剤でよく洗う

台所用洗剤を溶かしたぬるま湯に部品を浸けて洗浄します。ミルクコンテナ本体は、台所用洗剤を使って水洗いします。

矢印(→)で示されている穴や溝、くぼみが詰まらないように、特によく洗ってください。その後、よくすすぎ、各部品に洗剤が残らないようにしてください。



⑤ ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに戻す

各部品の水気を取り、取り外したときと逆の要領で、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに取り付けます。

⑥ ふたをミルクコンテナに戻す

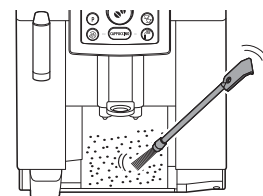
本体内部

清掃する

本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシや固く絞った濡れふきんを使って取り除いてください。

お願い

本体内部の清掃は、必ず本体背面の主電源をオフにして行ってください。



月一回、または長期間（1週間以上）使用しなかった場合に行うお手入れ

抽出ユニット

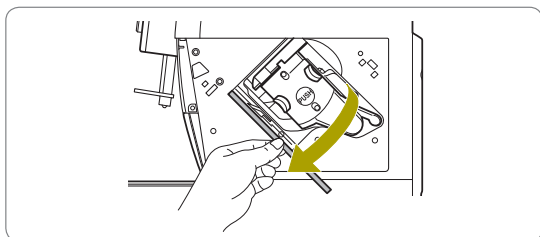
水洗い、乾燥

台所用洗剤や研磨剤、漂白剤は使用しないでください。フィルターに付いたコーヒーの油分が金属の表面に膜を作り、金属臭を抑えます。

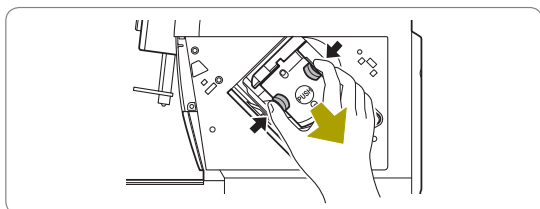
お願い

抽出ユニットは、必ず本体の電源をオフにしてから取り外してください。電源オン時に無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。

- ① (電源) ボタンを押して電源をオフにする (P.13)
- ② 水タンクを取り外す
- ③ 抽出ユニットふたを開ける



- ④ 抽出ユニットの赤いボタンをしっかりとつまみ、そのまま手前に引き出す



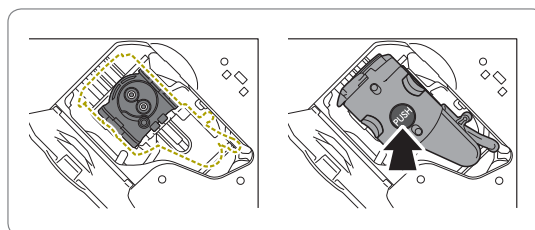
- ⑤ 抽出ユニット上部を流水で洗う

フィルター部分、コーヒーカスを払い落とすレバーの回りなどに残ったコーヒー粉を洗い流し、よく乾燥させます。

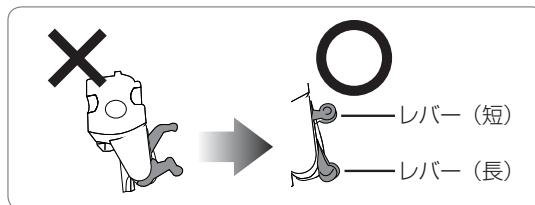
※ 洗剤や研磨剤、漂白剤は使用しないでください。

※ 食器洗浄機は使用できません。

- ⑥ 抽出ユニットを本体受け部にはめ込み、PUSH の位置をカチッという音がするまで指で強く押す



※ 抽出ユニットのレバーは、必ず下右図の位置にしてから、差し込んでください。



- ⑦ 抽出ユニットふたを閉じる
- ⑧ 水タンクを本体にセットする

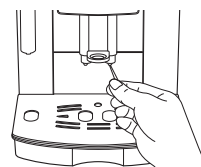
お手入れ(つづき)

必要なときに行うお手入れ

抽出口

清掃する

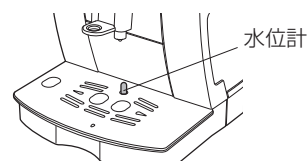
抽出口を確認し、詰まっている場合はブラシや爪楊枝などを使って取り除き、固く絞った濡れふきんで拭きます。



トレイ

水を捨てる

水位計（赤い突起）が上がってきたら、トレイを引き出して水を捨て、水洗いをしてください。



カス受け

コーヒーカスを捨てる

ディスプレイに「カスウケヲ カラニスル」と表示されたら、トレイを引き出してカス受けにたまっているコーヒーカスを捨ててください。

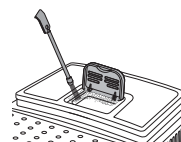
※カス受けが満杯でなくても、ディスプレイに「カスウケヲ カラニスル」と表示されたら必ずコーヒーカスを捨ててカス受けを空にしてください。



パウダー投入口

清掃する

定期的にパウダー投入口を確認し、必要に応じて付属のクリーニングブラシで取り除きます。



豆ホッパー

拭く

汚れが気になる場合は、乾いたふきんで拭き取ってください。

お願い

濡れふきんは使用しないでください。豆ホッパー内が濡れるとコーヒー豆の劣化や故障の原因になります。

豆ホッパーふた

水洗い・乾燥

汚れが気になる場合は、水洗いします。

お願い

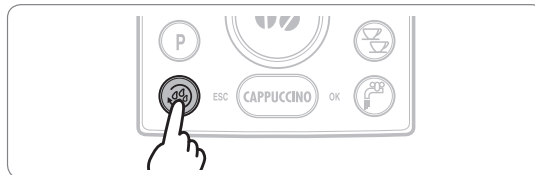
コーヒー豆の劣化を防ぐため、必ず乾燥させてから本体に取り付けてください。

手動内部洗浄

以下の場合、「手動内部洗浄」を行ってください。

長期間（1週間以上）使用しなかった場合／より衛生的に保ちたい場合／より熱いコーヒーを作る場合

- ① 100mL 以上のカップを抽出口の下に置く
- ② （内部洗浄）ボタンを押す
※毎回約 70mL のお湯が排出されます。
- ③ カップの湯を捨てる



石灰の除去（所要時間：約 30 分）

用意するもの：除石灰剤（P.6、P.42）

ディスプレイに「ジョセッカイ」と点滅表示されたら、石灰の除去をする時期の目安です。以下の手順で石灰を除去してください。

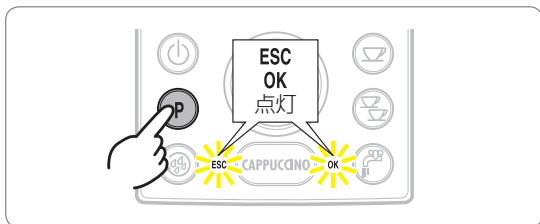
※水の石灰質が内部管などに付着すると、お湯やコーヒーの出具合が悪くなったり、温度が低くなったり、抽出不調の原因になります。

ジョセッカイ

※石灰の除去には、デロンギ全自動
コーヒーマシン用除石灰剤を使用
してください。（P.42）

準備

- ① 本体に給湯ノズルをセットする
- ② （プログラム）ボタンを押して、プログラムモードにする



- ③ コントロールノブを回し、「ジョセッカイ」を表示させる

ジョセッカイ

- ④ （OK）ボタンを押し、「OK デスカ？」を表示させる

ジョセッカイ
OK デスカ？

- ⑤ 石灰の除去を確定する場合は、（OK）ボタンを押す

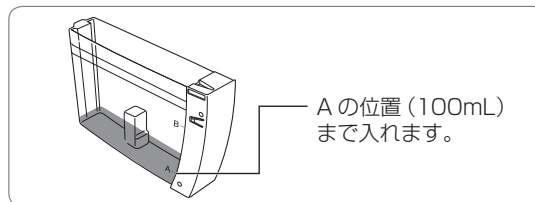
※ 中止する場合は （ESC）ボタンを押します。
※ 1 度確定すると除石灰作業を中止できないのでご注意ください。

- ⑥ 「ジョセッカイザイラ イレル OK デスカ？」と「ドリフトレイラ カラニスル」が交互に表示されたら、

- トレイを取り出し、水を捨てて元に戻す
- 水タンクを取り外し、いったん空にする

ジョセッカイザイラ イレル
OK デスカ？

- ⑦ 空の水タンクに除石灰剤を入れる



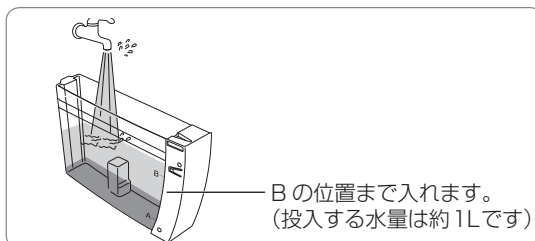
お手入れ（つづき）

お手入れ(つづき)

必要なときに行うお手入れ(つづき)

石灰の除去(つづき)

- ⑦ 除石灰剤を入れた水タンクに水を入れ、本体にセットする



- ⑧ 容量 2.0L 以上の容器を、給湯ノズルの下に置く

洗浄

- ⑨ (OK) ボタンを押して石灰の除去を始める
給湯ノズルと直接トレイへお湯が排出されます。

知っていただきたいこと

石灰除去中は、お湯の排出・停止が自動的に数回繰り返されます。(約 20～25 分間)

ジョセッカイ
ジコウチュウ



水タンクの水が
なくなると

ナイブセンジョウ
ミズタンクニ ミズヲ イレル

交互に表示

すすぎ

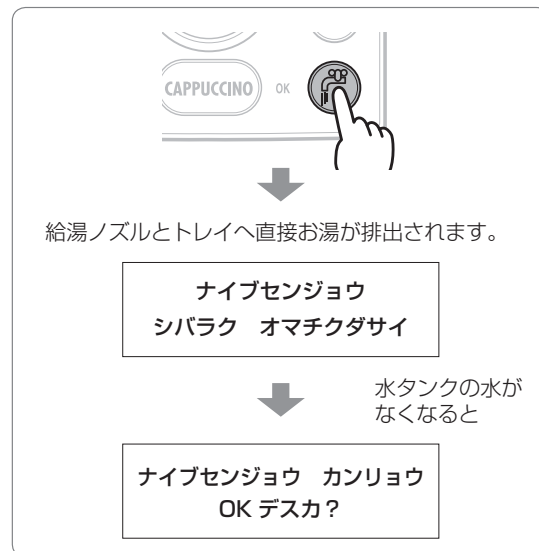
- ⑩ 水タンクを取り外してよくすすいだ後、MAX の位置まで水を入れる
水タンク内の除石灰剤が残らないようによくすすいでください。
※ 除石灰剤は入れないでください。

- ⑪ 水タンクを本体にセットする

ナイブセンジョウ
OK デスカ?

- ⑫ 容器を空にし、再度給湯ノズルの下に置く

- ⑬ (OK) ボタンを押して内部洗浄を始める



- ⑭ (OK) ボタンを押す

ミズタンクニ ミズヲ イレル

石灰の除去が完了しました。

ヒント 「ジョセッカイ」の表示の目安

ディスプレイに「ジョセッカイ」と表示される頻度は、設定した水の硬度によって異なります。
石灰の除去を行う目安は以下のとおりです。

設定した水硬度レベル	1	2	3	4
石灰の除去が必要となる使用水量の目安	250L	150L	80L	45L

※水硬度設定の詳細は P.12 を参照してください。

ディスプレイの表示と対処方法

ディスプレイの表示の意味と対処方法を説明します。

表 示	説 明	対処方法
ミズタンクニ ミズヲ イレル	水タンクの水が不足しています。	水タンクに水を入れてください。(P.10)
ミズタンクヲ セットスル	水タンクが正しくセットされていません。	水タンクをしっかりと本体に押し込んでください。(P.10)
カスウケヲ カラニスル	カス受けがいっぱいになっています。	コーヒーカスを捨ててください (P.36)。 ※カス受けが満杯になっていなくても、メッセージが表示されたら必ずカスを捨ててください
カスウケヲ セットスル	カス受けが正しくセットされていません。	カス受けを正しい位置にセットしてください。(P.6)
ミルクコンテナヲ セットスル	ミルクコンテナが本体に正しくセットされていません。	ミルクコンテナをしっかりと本体にセットしてください。(P.22、P.25)
ツマミヲ CLEAN ニアワセル	ミルクノズルを洗浄してください。	フロス調整つまみを CLEAN にあわせてください。(P.24)
ツマミガ CLEAN ノママデス フロスチョウセイツマミヲマウス	フロス調整つまみを CLEAN の位置にあわせている状態です。	フロス調整つまみを CLEAN の位置から、  ～  の間に戻してください。(P.24)
キュウトウノズルヲ セットスル	給湯ノズルが本体に正しくセットされていません。	給湯ノズルをしっかりと本体にセットしてください。(P.10)
マメホッパーニ コーヒーマメヲ イレル	豆ホッパーのコーヒー豆がなくなりました。	豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。
	パウダー投入口（内部）が詰まっています。	付属のクリーニングブラシでパウダー投入口の清掃を行ってください。(P.36)
コーヒーパウダーヲ イレル	コーヒー粉が入っていない状態で、コーヒー粉からの抽出が選択されています。	コーヒー粉をパウダー投入口に入れる、またはコーヒー粉からの抽出選択を取り消してください。(P.18)
パウダー／マメリョウ チュウイ	コーヒー豆の量が多すぎます。	コーヒー豆の量を少なく調整してください。(P.9)
	コーヒー粉の量が多すぎます。	コーヒー粉の量を減らしてください。(P.18)
チュウシュツユニットヲ セットシテクダサイ	抽出ユニットがセットされていません。	抽出ユニットをセットしてください。(P.35)
クウキヌキガヒツヨウデス キュウトウヲシテクダサイ キュウトウ OKデスカ？ (交互に表示)	本体の水経路に空気が入っている状態です。	OK ボタンを押して給湯してください。(P.15)
マメリユウド エラー グラインダーヲ アラメニ チョウセイ	豆のひき具合（粒度）が細かすぎて、抽出が遅い（またはされない）状態です。	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に 1 目盛回してください。(P.14) ※グラインダーノブは、必ずグラインダーが作動しているときに回してください。
ジョセッカイ	石灰を除去してください。	石灰の除去を行ってください。(P.37)
エラー！トリアツカイセツメイショカクニン	抽出ユニットの動作不良などが考えられます。	①主電源スイッチを一旦オフにし、約 5 秒後に再度オンにする。 ②抽出ユニットをセットし直す。 上記手順を行っても解決されない場合は、当社テクニカルセンター（P.43）までご相談ください。

故障かな？

修理を依頼される前に、お読みください

使用中に異常が生じた場合は、電源をオフにし、使用を中止してください。以下の点と、「ディスプレイの表示と対処方法」(P.39)を確認し、それでも正常に機能しないときは、お求めの販売店または当社テクニカルセンター (P.43) までお問い合わせください。

症 状 (状態)	考えられる原因		対処のしかた
コーヒーがぬるい	エスプレッソの温度は 67 ~ 70℃前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー (85℃前後) と比べ相対的にぬるく感じるがありますが、異常ではございません。		
	カップが温まっていない。		給湯機能を使ってカップを湯煎してください。(P.15)
	本体内部が温まっていない。		手動内部洗浄を行い、本体内部を温めてください。(P.37)
	抽出温度の設定が低い。		抽出温度を設定してください。(P.30)
・ コーヒーがクリーミーでない (クレマがない / 少ない) ・ 抽出が早すぎる	コーヒー豆量、またはコーヒー粉量に対して、抽出量が多すぎる。		抽出量を調整してください。(P.9)
	コーヒー豆からの抽出	コーヒー豆のひき具合が粗すぎる。	グラインダーノブを細かいほう (反時計回り) に 1 目盛回して調整してください。(P.14)
		適切な豆を使用していない。	新鮮なエスプレッソ用の豆を使用してください。(P.16)
	コーヒー粉からの抽出	コーヒー粉の量が少なすぎる。	投入するコーヒー粉の量を増やしてください。(最大 14g)
		適切なコーヒー粉を使用していない。	新鮮なエスプレッソ用の粉 (極細びき〜細びき) を使用してください。(P.18)
・ 抽出が遅い (ポタポタとしか抽出されない) ・ 抽出されない	抽出口や抽出ユニットが目詰まりを起こしている。		抽出口および抽出ユニットのお手入れをしてください。(P.35、P.36)
	コーヒー豆からの抽出	コーヒー豆の量が多すぎる。	コントロールノブを押して調整してください。(P.9)
		コーヒー豆のひき具合が細かすぎる。	グラインダーノブを粗いほう (時計回り) に 1 目盛回して調整してください。(P.14)
	コーヒー粉からの抽出	コーヒー粉の量が多すぎる。	投入するコーヒー粉の量を減らしてください。
		電源オフ時にコーヒー粉を投入した。	本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。(P.35)

症 状 (状態)	考えられる原因	対処のしかた
コーヒーが片方の抽出口からしか出てこない	片方の抽出口が詰まっている。	ブラシや爪楊枝などを使って、抽出口や抽出ユニットのコーヒー粉の詰まりを取り除いてください。(P.35、P.36)
	本製品が水平に設置されていない。	水平に設置してください。
フロスミルク／スチームミルクが適量出てこない スチームが出てくる	牛乳の通り道が詰まっている。	ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみを洗浄してください。(P.24、P.33、P.34)
	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳が入っていない。	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳を入れてください。(P.22)
CAPPUCCINOボタンを押してもコーヒーが出ない	CAPPUCCINO ボタンを2回押した。	CAPPUCCINO ボタンを1回押してください。(P.24) 2回押すとミルクだけ抽出します。(P.25)
㊦(電源) ボタンを押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体背面の主電源スイッチがオフになっている。	主電源スイッチをオンにしてください。(P.7)
お手入れの際、抽出ユニットが取り外せない	本体の電源が入っている状態で取り外そうとした。	抽出ユニットは、電源オフ時のみ取り外すことができます。本体の電源をオフにしてから取り外してください。(P.35) ※ 無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
石灰の除去をしても「ジョセッカイ」と表示される	洗浄やすすぎが完了していなかった。 途中で電源を切った。	もう一度水だけで石灰の除去作業を繰り返してください。(P.37～P.38) ※ 石灰の除去の際は、お湯の排出・停止を自動的に繰り返します。液晶ディスプレイの表示に従って完了してください。

おいしいカプチーノができない？

おいしいカプチーノができない場合には、以下の点をチェックしてください。

状 態	予想される原因	対処のしかた
牛乳の泡立ちが悪い Ⅱ フロスミルクがうまくできない	鮮度、温度、種類ともに適切でない牛乳を使用している。	成分無調整／乳脂肪分 3.0% 以上の 10℃ 以下に保存された、新鮮な牛乳を使用してください。(P.22)
	ミルクコンテナやミルクノズル、ミルク吸入チューブの穴が目詰まりしている。	ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみを洗浄してください。(P.24、P.33、P.34)
	フロス調整つまみが  に設定されている。	 ～  の間に設定してください。(P.25)

故障かな？

仕様

製 品 名 称	デロンギ マグニフィカ S カプチーノ コンパクト全自動エスプレッソマシン	
型 式 番 号	ECAM23460	
定 格	電 圧 / 周 波 数	100V / 50/60Hz
	消 費 電 力	1450W
外 形 寸 法 (約)	幅 238 × 奥行 430 × 高さ 350 (mm)	
質 量 (約)	9kg	
水 タ ン ク 容 量	1.8L (MAX の目盛り)	
ミ ル ク タ ン ク 容 量	0.6L (MAX の目盛り)	
豆 ホ ッ パ ー 容 量 (約)	250g	
豆 量 設 定	1 杯抽出：約 6 ～ 11g	2 杯抽出：約 10 ～ 14g
コ ー ヒ ー パ ウ ダ ー 使 用	可 (最大 14g)	
コ ー ヒ ー 抽 出 量	1 杯抽出時	2 杯抽出時
	マイコーヒー：初期設定約 30mL エスプレッソ：約 30mL エスプレッソ LARGE：約 40mL ロングコーヒー：約 120mL ロングコーヒー LARGE：約 150mL ※「マイコーヒー」は抽出量を変更することができます。	マイコーヒー：初期設定約 60mL エスプレッソ：約 60mL エスプレッソ LARGE：約 80mL ロングコーヒー：約 240mL ロングコーヒー LARGE：約 300mL ※ 抽出量は倍になりますが、1 杯あたりの抽出量は変わりません。
カ ス 受 け 容 量	1 杯抽出：14 回分	2 杯抽出：10 回分
エ ス プ レ ッ ソ 抽 出 方 式	ポンプ式 (ポンプ最大圧力：1.5MPa)	
グ ラ イ ン ダ ー	コーン式コーヒーグラインダー	
材 質	本 体	ABS 樹脂、PC
	水 タ ン ク	AS 樹脂
	抽 出 ユ ニ ッ ト	ポリアセタール樹脂
	ミルクコンテナ (本体)	ポリエチレンテレフタレート樹脂

別 売 品

- コンパクト全自動マシン用抽出ユニット
- 全自動コーヒーマシン用除石灰剤 (2 個入り) 【型式番号：DSCL-100X2】
- ミルクコンテナ 【型式番号：MC23460】 容量：0.6L
- 水硬度チェッカー

お求め方法 ▶ お買い上げの販売店または弊社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合 (EU) による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル (PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル (PBDE) の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービスについて

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、39～40ページ「ディスプレイの表示と対処方法」「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記)にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に
1. お買い上げ日 2. 製品名称と型式番号 3. 故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。
なお、当社テクニカルセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。
※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ(下記参照)にてご確認ください。
- 3) 保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4) 補修用性能部品の保有期間について
弊社では、この全自動エスプレッソマシンの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5) まごころ点検のおすすめ：長い期間でご利用いただくために、専門技術者による点検(お預かり)をお薦めします。点検の依頼および料金などにつきましては、当社テクニカルセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、お買い上げ日を記入してください。点検の目安になります。

お買い上げ日： 年 月 日

- 6) デロンギ再資源化システムについて
ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ(下記参照)にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社テクニカルセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp/support>

仕様

アフターサービスについて

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ マグニフィカSカプチーノ コンパクト全自動エスプレッソマシン		
型式番号：ECAM23460		
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____
	ご住所：〒 _____	
販売店	※店名・住所・TEL： _____	
	_____ 印	
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		
保証期間： お買い上げ日より1年間		保証対象： 本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社テクニカルセンターに直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - 本書のご提示がない場合
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用、車輦、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンテクニカルセンターにお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■修理メモ

デロンギ・ジャパン株式会社 テクニカルセンター

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町 13-13

TEL. 0120-804-280 ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。